

公表可能データ(2025年5月版)										
データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後のリポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
例1	2019年3月18日	〇〇実証においてセンサより撮像したデータ及び関連データ	〇〇実証においてセンサより撮像したデータであり、道路の画像データ	〇〇研究所	自社に保存	10GB以上100GB未満	一定期間後に事業の実施上有益なものに対して有償又は無償で提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。なお、サンプルデータを公開している。	〇〇研究所 〇〇部門〇〇課 TEL:00-0000-0000(内線0000) Mail:〇〇〇〇@〇〇〇〇	〇●に関する研究開発	サンプルデータを下記URLにて提供。 http://www. 〇〇.ac.jp
例2	2019年3月18日	〇〇のシミュレーションデータ	〇〇のシミュレーションデータ	〇〇大学	自社に保存	10GB	一定期間後に事業の実施上有益なものに対して有償又は無償で提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。なお、サンプルデータを公開している。	〇〇大学 〇〇研究室 TEL:00-0000-0000(内線0000) Mail:〇〇〇〇@〇〇〇〇	●〇に関する実証研究	サンプルデータを下記URLにて提供。 http://www.〇〇〇.html
1	2019年3月12日	公開された有害性情報および物性推定モデルに基づく化学物質分類データ	化審法や化管法の規制根拠情報として、既に公開されている試験結果、有害性情報、規制に関わる有害性クラス、等を入力データとして、統計解析や物性推定モデルにより得られた化学物質分類データ。またこの過程で得られた中間データ。	国立大学法人大阪大学	本学に保存	1GB未満	一定期間後に事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	大阪大学大学院工学研究科(環境・エネルギー工学専攻)東海明宏 TEL:06-6879-7676 Mail:tokai@see.eng.osaka-u.ac.jp	平成30年度化学物質安全対策(ベストミックスの視点からみたレスポンス・ケアのあり方)	関連する学術発表状況を下記URLにて提供。 http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/seeem/seeem/
2	2019年3月12日	非定常流出を想定したリスク評価結果のデータ	化管法に関する公開情報およびそれと関連する補助調査の公開情報等を入力データとして、解析シミュレーションより得られた評価結果のデータ。また、この過程で得られた中間データ。	国立大学法人大阪大学	本学に保存	1GB以上10GB未満	一定期間後に事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	大阪大学大学院工学研究科(環境・エネルギー工学専攻)東海明宏 TEL:06-6879-7676 Mail:tokai@see.eng.osaka-u.ac.jp	平成30年度化学物質安全対策(ベストミックスの視点からみたレスポンス・ケアのあり方)	関連する学術発表状況を下記URLにて提供。 http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/seeem/seeem/
3	2019年3月12日	参加した地域対話において取得したデータ	参加した地域対話において取得した、配布資料、当日の意見交換内容等を整理したデータ	国立大学法人横浜国立大学	自社に保存	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者または管理者が認める関係者に無償で提供 プロジェクト終了後: 一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	横浜国立大学 環境情報研究所/リスト共生社会想像センター(併任) 熊崎美枝子 TEL:045-339-3994 Mail:kumasaki-mieko-pd@ynu.ca.jp	平成30年度化学物質安全対策(レスポンス・ケア活動におけるリスク情報を活用した地域対話の在り方に関する研究)	
4	2019年3月12日	PRTR排出量の推移分析データ	(1)公開情報であるPRTR届出データから、「大気の大気排出」について、事業所ごとの排出量とその内訳を抽出したもの(燃料小売業を除く45業種、業種別)。 (2)事業所・物質ごとの排出量の年次推移・変化量の算出結果(化学工業はか一部の業種のみ)	国立大学法人横浜国立大学	自社に保存	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者または管理者が認める関係者に無償で提供 プロジェクト終了後: 一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	横浜国立大学 環境情報研究所/リスト共生社会想像センター(併任) 熊崎美枝子 TEL:045-339-3994 Mail:kumasaki-mieko-pd@ynu.ca.jp	平成30年度化学物質安全対策(レスポンス・ケア活動におけるリスク情報を活用した地域対話の在り方に関する研究)	
5	2019年3月12日	PRTR制度の比較データ	諸外国において整備されているPRTR、または類似制度を調査し、比較整理したデータ	国立大学法人横浜国立大学	自社に保存	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者または管理者が認める関係者に無償で提供 プロジェクト終了後: 一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	横浜国立大学 環境情報研究所/リスト共生社会想像センター(併任) 熊崎美枝子 TEL:045-339-3994 Mail:kumasaki-mieko-pd@ynu.ca.jp	平成30年度化学物質安全対策(レスポンス・ケア活動におけるリスク情報を活用した地域対話の在り方に関する研究)	
6	2019年3月31日	ひまわり	気象衛星ひまわりの可視、赤外領域の画像および水蒸気データです。 東南アジアを含む広域を撮影した10分間隔のデータです。	気象庁	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープン・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
7	2019年3月31日	ASNARO-2	詳細撮影を目的とした1~2mの高解像度の雲に左右されないSARデータです。経済産業省の助成事業としてNECが開発したASNARO-2衛星のデータです。	JEOSS	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープン・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
8	2019年3月31日	アメダス1分値	全国各地の地域気象観測所(アメダス)で得られた1分値データをバイナリ形式で収録したものです。 観測種目として、降水量、気温、風向、風速、日照時間(一部の観測所を除く)、積雪の深さ(一部の観測所に限る)がありますが、地点により観測種目が異なります。	気象庁	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープン・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
9	2019年3月31日	SLATS	超低高度からの光学観測により地表分解能工場を目的とした技術試験衛星 バンクロマディックで分解能1m以下の画像データです。	宇宙航空研究開発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
10	2019年3月31日	AVNIR-2	解像度10mの広域撮影を目的とした光学カラー画像です。 JAXAのAVNIR-2センサーデータから生成されています。	宇宙航空研究開発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
11	2019年3月31日	ASNARO-1	詳細撮影を目的とした光学センサーで撮影した、解像度0.5mの 白黒画像と2mのカラー画像です。 経済産業省からの委託を受けて、一般財団法人宇宙システム 開発利用推進機構とNECが開発したASNARO-1衛星の データです。	株式会社パスコ	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
12	2019年3月31日	Landsat-8	広域撮影を目的とした光学センサーで撮影した解像度15mの 白黒画像と30mのカラー画像です。アメリカUSGSが運用して いるLandsat-8衛星のデータです。	USGS/NASA	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
13	2019年3月31日	PALSAR-2	広域撮像を目的とした雲に左右されない解像度3～14mの SARデータです。JAXAが開発したPALSAR-2というSARセン サのデータです。	株式会社パスコ	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
14	2019年3月31日	AW3D30	水平解像度30m相当、高さ精度目標5mの標高データです。 JAXAのALOS-1衛星データをもとに作成されています。	宇宙航空研究開発機構／一般社 団法人リモートセン シング技術センタ ー	自社に保管	10GB以上 100GB未満	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
15	2019年3月31日	ASTERGDEM2.0	水平解像度30m相当、高さ方向精度7～14mの標高データで す。経済産業省が開発したASTERセンサーデータをもとに作成 したデータです。	経済産業省	自社に保管	10GB以上 100GB未満	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
16	2019年3月31日	GSMaP降雨量	日別の降雨量が分かるデータです。 複数の衛星データをもとに、JAXAによって開発されたアルゴ リズムで計算しています。	宇宙航空研究開発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
17	2019年3月31日	MODIS地表面温度	地表面の温度データです。 NASAが運用するMODISデータをもとに、JAXAが算出しています。	宇宙航空研究開発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
18	2019年3月31日	解析雨量	気象庁の保有する気象レーダーと地域気象観測(アメダス)データを用いてメッシュで解析した降水量データです。	気象庁	自社に保管	10GB以上 100GB未満	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
19	2019年3月31日	PALSAR	広域撮像を目的とした雲に左右されない解像度7～44mのSARデータです。 JAXAが開発したPALSARというSARセンサのデータです。	宇宙航空研究開発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
20	2019年3月31日	人流データ(ブログ ウォッチャー)	スマートフォンアプリのSDKより取得した位置情報であり、取得データは下記の内容となる。 ・対象期間:2016年7月1日～2017年9月末 ・対象データ量:全体MAU2,000万(提供は300万MAU) ・対象地域:日本全国 ・データタグ:時間、緯度経度、推定住居メッシュ、推定勤務地メッシュ ・取得感覚:5分～15分	株式会社ブログ ウォッチャー	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
21	2019年3月31日	人流データ(ドコモ・イ ンサイトマーケティング)	docomoのケータイ電話の基地局より取得されたモバイルの位置情報。取得データは下記の内容となる。 ・対象地域:東京23区、横浜市18区、大阪市24区、名古屋16区、福岡市7区 ・対象期間:2016年7月1日～2017年9月末 ・データ量:国内約7,600万台訪日外国人約750万台 ・データタグ:総数・性年代・居住地(市区町村) ・対象地域:熊本県(もしくは熊本県への流入情報) ・対象期間:2016年4月1日～2016年7月末 ・データ量:国内約7,600万台訪日外国人約750万台 ・データタグ:総数・性年代・居住地(市区町村) ・対象地域:岐阜県、京都府、兵庫県、岡山県、鳥取県、広島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県の1府10県 ・対象期間:25日(2018年6月28日～7月8日十前後1週間(特定日)) ・データ量:国内約7,600万台訪日外国人約750万台 ・データタグ:総数・性年代・居住地(市区町村)	株式会社ドコモ・ インサイトマーケ ティング	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/
22	2019年3月31日	SNSTwitterデータ (NTTデータ)	Twitter社提供のTweetデータ。Twitterで呟かれた内容・時間・位置情報を含むデータ。 特定の期間の、特定のキーワードを抽出。 ・対象期間:2016年4月1日～2016年7月末、2016年7月1日～2017年9月末 ・対象キーワード:交通・豪雨・台風関連キーワード、地震関連キーワード	株式会社エヌ・ ティ・ティ・データ	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusxdp.com/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
23	2019年3月31日	レシート購買データ (ワンファイナンシャル)	レシート情報から読み取れる購買データ。店舗の位置情報が緯度経度単位で取得可能。本人確認に基づいた正確なユーザー属性情報が取得。	ワンファイナンシャル株式会社	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができる。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンアーカイブ化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusx.jp/
24	2019年3月31日	白地図データ (MIERUNE)	WebページやGISなどにすぐ取り込める配信型背景地図データ。ベースデータはオープンライセンスのOpenStreetMapなどを組み合わせて作成している。	株式会社 MIERUNE	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができる。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンアーカイブ化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusx.jp/
25	2019年3月31日	RESAS	地域経済に関する各省庁の統計データ	経済産業省 内閣官房	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができる。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成30年度政府衛星データのオープンアーカイブ化・データ利用環境整備事業	https://www.tellusx.jp/
26	2019年4月12日	化学物質測定データ	事業所における化学物質の濃度および放散速度の測定結果	学校法人成蹊学 園成蹊大学	当大学にて保存	1GB未満	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。研究論文、学会にて公表予定。	成蹊大学 理工学部物質生命理工学科 山崎章弘 0422-37-3887 akihiro@st.seikei.ac.jp	平成31年度化学物質安全対策(レスポンス・ケアの更なる促進に関する調査研究)	
27	2019年4月12日	排出量データ	各事業者の代表的な対象物質ごとの使用および排出量調査の結果：排出量の推移、排出量削減に対する取り組み例、排出量削減に伴うコスト、ベネフィットの評価結果先進的な事業者の化学物質管理に関する取り組み、対策調査の結果	学校法人成蹊学 園成蹊大学	当大学にて保存	1GB未満	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。研究論文、学会にて公表予定。	成蹊大学 理工学部物質生命理工学科 山崎章弘 0422-37-3887 akihiro@st.seikei.ac.jp	平成31年度化学物質安全対策(レスポンス・ケアの更なる促進に関する調査研究)	
28	2019年4月12日	排出量削減の下げ止まりの原因解析及び課題抽出に関する調査データ	製造および排出プロセスの分析：削減量vs削減コスト、製品品質との関係の解析 排出量削減に対する課題抽出(コスト、製品品質、環境影響、新規物質の導入等)	学校法人成蹊学 園成蹊大学	当大学にて保存	1GB未満	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。研究論文、学会にて公表予定。	成蹊大学 理工学部物質生命理工学科 山崎章弘 0422-37-3887 akihiro@st.seikei.ac.jp	平成31年度化学物質安全対策(レスポンス・ケアの更なる促進に関する調査研究)	
29	2020年2月28日	課題1関連データ	化学物質の類型化に係る解析結果データ	大阪大学 大学院工学研究 科 東海研究室	大阪大学 大学院工学研究科 東海研究室に保存	3MB	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 環境マネジメント学領域東海研究室 TEL:06-6879-7676 Mail:tokai@see.eng.osaka-u.ac.jp	平成31年度化学物質安全対策(リスクベースの視点からみたレスポンス・ケアのあり方)	
30	2020年2月28日	課題2関連データ	PRTR対象物質の排出量の変化傾向に係る要因解析結果データ	大阪大学 大学院工学研究 科 東海研究室	大阪大学 大学院工学研究科 東海研究室に保存	2MB	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 環境マネジメント学領域東海研究室 TEL:06-6879-7676 Mail:tokai@see.eng.osaka-u.ac.jp	平成31年度化学物質安全対策(リスクベースの視点からみたレスポンス・ケアのあり方)	
31	2020年2月28日	課題3関連データ	PRTR物質を対象とした物性値データベース並びにケーススタディ解析結果データ	大阪大学 大学院工学研究 科 東海研究室	大阪大学 大学院工学研究科 東海研究室に保存	2MB	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 環境マネジメント学領域東海研究室 TEL:06-6879-7676 Mail:tokai@see.eng.osaka-u.ac.jp	平成31年度化学物質安全対策(リスクベースの視点からみたレスポンス・ケアのあり方)	
32	2020年3月2日	PRTR排出量の推移 分析データ	公開情報であるPRTR排出量をもとに、その推移を様々な要因に基づき整理、分析したデータ	国立大学法人横 浜国立大学	自社に保存	1GB以上10GB 未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者または管理者が認める関係者に無償で提供 プロジェクト終了後：一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	横浜国立大学 環境情報研究所/リスト共生社会想像セン ター(併任) 熊崎美枝子 TEL:045-339-3994 Mail:kumasaki-mieko-pd@ynu.ca.jp	平成31年度化学物質安全対策(化学物質の対話型リスクコミュニケーションの推進に関する研究)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
33	2020年3月2日	PRTR制度の比較データ	諸外国において整備されているPRTR、または類似制度を調査し、比較整理したデータ	国立大学法人横浜国立大学	自社に保存	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者または管理者が認める関係者に無償で提供 プロジェクト終了後：一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	横浜国立大学 環境情報研究所/リスト共生社会想像センター(併任) 熊崎美枝子 TEL:045-339-3994 Mail:kumasaki-mieko-pd@ynu.ca.jp	平成31年度化学物質安全対策(化学物質の対話型リスクコミュニケーションの推進に関する研究)	
34	2020年3月31日	標準化会議検討資料	国際標準化会議(ISO/IEC/JTC1/SC7WG6)・国内委員会(SC7/WG6小委員会)で利用する対象標準に関する技術検討資料	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	作成日時、検附内容概要を添付し、リスト化して保持。WEBIによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	
35	2020年3月31日	調査関連資料	標準化フォーラムで実施する調査、実験の資料、議事録	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	作成日時、検附内容概要を添付し、リスト化して保持。WEBIによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	
36	2020年3月31日	実験試料	標準化のための技術検討を行った結果の資料	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	作成日時、検附内容概要を添付し、リスト化して保持。WEBIによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	
37	2020年3月31日	普及活動資料	普及活動のために作成した資料(セミナー資料、アウトリーチ活動資料)	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	WEBIによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	
38	2020年3月31日	学会資料	学会で発表した資料のリスト	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	WEBIによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	
39	2020年3月31日	熱伝導率経時変化測定試験データ	断熱用吹付け硬質ウレタンフォームにおける熱伝導率経時変化測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	当連盟に保存	10GB以上100GB未満	プロジェクト期間中：プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後：JIS企画として公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟規格部 TEL:03-6661-6812 mail:kaya@jpif.gr.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	JIS規格作成の議論に活用する。
40	2020年3月31日	燃焼性試験測定データ	断熱用吹付け硬質ウレタンフォームにおける燃焼性試験測定結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	当連盟に保存	10GB以上100GB未満	プロジェクト期間中：プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後：JIS企画として公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟規格部 TEL:03-6661-6812 mail:kaya@jpif.gr.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	JIS規格作成の議論に活用する。
41	2020年3月31日	プラスチック管材の長期内圧強度測定データ	各種材質の管材の内圧強度試験機による管の長期内圧強度特性を確認し、管材の試験サンプルによる測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中：当連盟に保存 終了後：当連盟に保存	100GB以上	プロジェクト期間中：プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後：JIS企画として公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6812 mail:kamata@jpif.gr.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	
42	2020年3月31日	AhR受容体を用いたダイオキシン様作用の検出方法確立のための検証データ	AhR受容体を用いたダイオキシン様作用の検出方法確立のための検証試験データ	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用・提供について情報開示の要望があった場合は知財運営委員会等で検討し、必要に応じて事業の実施上有益な者に対して成果報告書の記載内容の提供を行う。但しデータのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会環境管理部門 TEL:03-5209-7707 Mail:tarui@jemai.or.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	
43	2020年3月31日	新規ダミーによる試験データ	車椅子試験用ダミーを自主制作する場合に参考になる	日本福祉用具・生活支援用具協会	JIS発行までは自協会内で保管	1GB未満	JIS解説に記載する	日本福祉用具・生活支援用具協会 03-3437-2623 jasp07@jasp.gr.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	JIS解説に記載するほか電話等の問い合わせに対応する
44	2020年3月31日	排ガス中の水銀測定法に関するJIS開発の検証試験において取得したデータ及び関連データ	排ガス中の水銀測定法の開発において取得した計測データ	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用・提供について情報開示の要望があった場合は知財運営委員会等で検討し、必要に応じて事業の実施上有益な者に対して成果報告書の記載内容の提供を行う。但しデータのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会環境管理部門国際協力・技術センター TEL:03-5259-7707 Mail:ohno@jemai.or.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	
45	2020年3月31日	アゾメチンH流れ分析法に関する検証実験	アゾメチンH流れ分析法による測定データ	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用・提供について情報開示の要望があった場合は知財運営委員会等で検討し、必要に応じて成果報告書の記載内容の提供を行う。但しデータのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会環境管理部門 TEL:03-5209-7707 Mail:tarui@jemai.or.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託 費戦略的国際標準化加速事業：産業基盤分野に係る国際標準開発活動	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
46	2020年3月31日	銅・カドミウムカラム還元カラムの小型化検討・検証実験	銅・カドミウム還元カラムの小型化検討のために取得した測定データ	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用・提供について情報開示の要望があった場合は知財運営委員会等で検討し、必要に応じて事業の実施上有益な者に対して成果報告書の記載内容の提供を行う。但しデータのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会環境管理部門 TEL:03-5209-7707 Mail:tarui@jemai.or.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託費(戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
47	2020年3月31日	人体計測データ	女性の身長、バスト、ウエスト、ヒップ	日本アパレル工業技術研究会	自社に保存	1GB未満	計測したデータを基に三次元形状を作成し規格書に記載している。	日本アパレル工業技術研究会 03-3591-8350 apakoken@jat-ra.com	平成31年度産業標準化推進事業委託費(戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動)	データは提供しない。
48	2020年3月31日	電力半導体デバイスのパワーサイクル試験の応力シミュレーションデータ	電力半導体デバイスのパワーサイクル試験条件を導出するための有限要素法シミュレーションによる応力解析データ	芝浦工業大学	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供する。 プロジェクト終了後:一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	芝浦工業大学 工学部材料工学科材料物理研究室 TEL:03-5859-8107 Mail:y_kariya@shibaura-it.ac.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託費(戦略的国際標準化加速事業:産業戦略分野に係る国際標準開発活動)	
49	2020年3月31日	電力半導体デバイスのパワーサイクル試験の応力シミュレーション用材料データ	電力半導体デバイスの有限要素法シミュレーションに用いる材料物性に関する実験データ。	芝浦工業大学	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供する。 プロジェクト終了後:一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	芝浦工業大学 工学部材料工学科材料物理研究室 TEL:03-5859-8107 Mail:y_kariya@shibaura-it.ac.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託費(戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動)	
50	2020年3月31日	超電導ケーブルの臨界電流値等	ラウンドロビンテスト(RRT)として超電導ケーブルの臨界電流測定を行い、取得される I_c 値(臨界電流値)及び n 値	一般社団法人日本電線工業会	日本電線工業会に保存	数M程度	第67回応用物理学会春季学術講演会(上智大、3/12-3/15)において発表。 また、IEC国際標準書のAnnex1に、RRT結果として掲載する予定	一般社団法人日本電線工業会 IEC/TC90超電導委員会事務局 TEL:03-3542-6031 Mail:tc90minura@jcmaj.jp	平成31年度産業標準化推進事業委託費(戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動)	
51	2020年3月31日	プラズマ発光分析測定データ	プラズマ発光分析法によるアルミニウム合金中の元素分析データ	日本アルミニウム協会	日本アルミニウム協会およびプロジェクト委員会で保存	1MB未満	国内共同分析、国際共同分析によるデータの信頼性評価のために、各国研究機関に公開・提供する。また学会発表を通してデータを公開する。 プロジェクト期間中:プロジェクト参加者には無償で提供。また学会発表で広く公表する。 プロジェクト終了後:広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本アルミニウム協会 Tel:03-3538-0221	平成31年度産業標準化推進事業委託費(戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動)	
52	2020年3月31日	オーバーパックの腐食挙動に関する試験データ	過渡状態を想定した環境条件における腐食試験により得られる腐食データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr 澤田淳 TEL:029-282-1133(内線:67600)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
53	2020年3月31日	緩衝材の基本特性に関する試験データ	ベントナイトの基本特性や地下水の湿潤課程での力学的挙動を把握するための膨潤、透水等の室内試験に関するデータ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr 澤田淳 TEL:029-282-1133(内線:67600)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
54	2020年3月31日	現象解析モデルの統合化技術の構築におけるニアフィールド複合現象等の解析データ	現象解析モデルの統合化技術の構築におけるニアフィールド複合現象等の解析システムの感度解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr 澤田淳 TEL:029-282-1133(内線:67600)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
55	2020年3月31日	有機物・微生物の影響評価モデルの高度化における試験・解析データ	天然有機物や微生物の特性や核種との相互作用に関する試験・分析データ及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr 澤田淳 TEL:029-282-1133(内線:67600)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
56	2020年3月31日	ニアフィールドにおける状態変遷を考慮した核種移行解析モデルの構築における試験・解析データ	ニアフィールドにおける鉄製オーバーバックと緩衝材との相互作用、セメント系材料と緩衝材及び岩石との相互作用が核種移行に及ぼす影響に関する試験・分析データ及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr 澤田淳 TEL:029-282-1133(内線:67600)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
57	2020年3月31日	水みちの微細透水構造などを反映した核種移行解析モデルの構築・高度化における試験・解析データ	ニアフィールド岩盤中の核種移行評価に関する試験・分析データ及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr 澤田淳 TEL:029-282-1133(内線:67600)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
58	2020年3月31日	想定される様々な処分環境を対象とした核種移行パラメータ設定に資するデータの拡充における試験・解析データ	比較的炭素濃度が高い地下水が存在する場等における岩石への吸着・拡散評価に関する試験・分析データ及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr 澤田淳 TEL:029-282-1133(内線: 67600)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
59	2020年3月31日	緩衝材流出現象の把握及び工学的対策効果確認試験により取得したデータ	緩衝材の流出現象の把握及び工学的対策効果確認のために取得する、水圧、土圧(膨張圧)、緩衝材膨張量、密度、水質等の物理的及び化学的データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 江守稔 TEL:03-6264-2111(代)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
60	2020年3月31日	緩衝材の浸潤プロセスに係る試験・解析データ	緩衝材の再冠水期間の擾乱期の状態変遷を評価するための要素試験やモデル試験により取得するデータ及び解析データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 江守稔 TEL:03-6264-2111(代)	平成31年度向レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
61	2020年3月31日	シーリングシステム長期性能評価に関する解析評価データ	多様な地質環境条件を想定した地下水流動や移行経路の分析ならびにEDZ影響に関する解析評価によって得られたデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター 堆積岩処分技術開発グループ TEL: 01632-5-2022(代表)	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
62	2020年3月31日	シーリングシステム設計評価技術開発	止水プラグの設計の観点からEDZの幅、断層からの距離、止水プラグの形状などをパラメータとした感度解析によって得られたデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター 堆積岩処分技術開発グループ TEL: 01632-5-2022(代表)	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
63	2020年3月31日	シーリング技術の性能確認で取得したデータ	膨潤挙動相互作用試験(室内試験)、EDZシーリング試験(原位置試験)および掘削影響領域の連続性等に関する調査で取得した計測データ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター 堆積岩処分技術開発グループ TEL: 01632-5-2022(代表)	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
64	2020年3月31日	小断面坑道の収付けによる埋め戻し材の施行試験(事後調査)で取得したデータ	H30年度に実施した施行試験埋戻し領域からの埋め戻し材料のサンプリングとその室内物性試験により取得したデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター 堆積岩処分技術開発グループ TEL: 01632-5-2022(代表)	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
65	2020年3月31日	小断面坑道の収付けによる埋め戻し材の施行試験で設置したモニタリング機器により取得したデータ	H30年度に実施した施行試験埋戻し時に設置した計測装置類(水分計、土圧計、水圧計値)により取得した連続計測データとベントナイト流出量観測で所得した分析結果と流量データ(加工していない一次データ)	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター 堆積岩処分技術開発グループ TEL: 01632-5-2022(代表)	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
66	2020年3月31日	要素試験により取得する埋め戻し材料等の土質系材料の特性データ	埋め戻し材に関して、個別材料要素の組合せをパラメータとした要素試験により取得した材料特性データ(締固め特性、圧密特性、湿潤後の透水性、湿潤挙動など)	原子力環境整備促進・資金管理センター	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-1615 Mail:kawakubo.masahiro@rwmc.or.jp	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
67	2020年3月31日	土槽・工学規模の施工試験により取得する埋め戻し材料等の土質系材料の施行特性データ	埋め戻し材に関して、個別材料要素の組合せをパラメータとした施工試験(収付工法、撒き出し・転圧工法など)により取得した施行特性や施工品質データ(到達密度、密度分布、材料分離状態など)	原子力環境整備促進・資金管理センター	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-1615 Mail:kawakubo.masahiro@rwmc.or.jp	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
68	2020年3月31日	無線伝送技術の実証試験により取得する連続計測データ	無線伝送技術の技術実証に用いる原位置実証試験により取得した連続統計データ(湿度や圧力などの伝送データ、計測機器の運転データなど)	原子力環境整備促進・資金管理センター	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-1615 Mail:kawakubo.masahiro@rwmc.or.jp	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
69	2020年3月31日	無線給電技術の実証試験により取得する計測データ	無線給電技術の有効性の確認等を目的とした要素試験により取得した計測データ(給電効率等)に関連する1次計測データなど)	原子力環境整備促進・資金管理センター	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後: 一次データ(生データ)については、事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-1615 Mail:kawakubo.masahiro@rwmc.or.jp	平成31年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確証試験)	
70	2020年4月1日	ひまわり	気象衛星ひまわりの可視、赤外領域の画像および水蒸気データです。 東南アジアを含む広域を撮影した10分間隔のデータです。	気象庁	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を作成することができる。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープン化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
71	2020年4月1日	ASNARO-2	詳細撮影を目的とした1~2mの高解像度の雲に左右されないSARデータです。経済産業省の助成事業としてNECが開発したASNARO-2衛星のデータです。	JEOSS	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
72	2020年4月1日	アメダス1分値	全国各地の地域気象観測所(アメダス)で得られた1分値データをバイナリー形式で収録したものです。 観測種目として、降水量、気温、風向、風速、日照時間(一部の観測所を除く)、積雪の深さ(一部の観測所に限る)がありますが、地点により観測種目が異なります。	気象庁	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
73	2020年4月1日	SLATS	超低高度からの光学観測により地表分解能工場を目的とした技術試験衛星 バンクロマディックで分解能1m以下の画像データです。	宇宙航空研究開 発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
74	2020年4月1日	GCOM-C	GCOM-Cは、陸地や海上に広がる植物、雲、水の分布、地表面や海面温度、大気中にある細かい塵の量などを観測したデータを取得します。現在、Tellusに掲載されているのは、以下の3プロダクトになります。 ・クロロフィルa濃度 ・海面水温 ・地表面温度	宇宙航空研究開 発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
75	2020年4月1日	ASTERGDEM3.0	水平解像度30m相当、高さ方向精度7~14mの標高データです。経済産業省が開発したASTERセンサデータをもとに作成したデータです。	経済産業省	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
76	2020年4月1日	AVNIR-2	解像度10mの広域撮影を目的とした光学カラー画像です。JAXAのAVNIR-2センサデータから生成されています。	宇宙航空研究開 発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
77	2020年4月1日	ASNARO-1	詳細撮影を目的とした光学センサで撮影した、解像度0.5mの白黒画像と2mのカラー画像です。 経済産業省からの委託を受けて、一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構とNECが開発したASNARO-1衛星のデータです。	株式会社パスコ	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
78	2020年4月1日	Landsat-8	広域撮影を目的とした光学センサで撮影した解像度15mの白黒画像と30mのカラー画像です。アメリカUSGSが運用しているLandsat-8衛星のデータです。	USGS/NASA	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
79	2020年4月1日	PALSAR-2	広域撮像を目的とした雲に左右されない解像度3～14mのSARデータです。JAXAが開発したPALSAR-2というSARセンサのデータです。	株式会社パスコ	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
80	2020年4月1日	AW3D30	水平解像度30m相当、高さ精度目標5mの標高データです。JAXAのALOS-1衛星データをもとに作成されています。	宇宙航空研究開発機構ノ一般社団法人リモートセンシング技術センター	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
81	2020年4月1日	ASTERGDEM2.0	水平解像度30m相当、高さ方向精度7～14mの標高データです。経済産業省が開発したASTERセンサデータをもとに作成したデータです。	経済産業省	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
82	2020年4月1日	GSMaP降雨量	日別の降雨量が分かるデータです。複数の衛星データをもとに、JAXAによって開発されたアルゴリズムで計算しています。	宇宙航空研究開発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
83	2020年4月1日	MODIS地表面温度	地表面の温度データです。NASAが運用するMODISデータをもとに、JAXAが算出しています。	宇宙航空研究開発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
84	2020年4月1日	解析雨量	気象庁の保有する気象レーダーと地域気象観測(アメダス)データを用いてメッシュで解析した降水量データです。	気象庁	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
85	2020年4月1日	PALSAR	広域撮像を目的とした雲に左右されない解像度7～44mのSARデータです。JAXAが開発したPALSARというSARセンサのデータです。	宇宙航空研究開発機構	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
86	2020年4月1日	人流データ(ログウォッチャー)	スマートフォンアプリのSDKより取得した位置情報であり、取得データは下記の内容となる。 ・対象期間:2016年7月1日～2017年9月末 ・対象データ量:全体MAU2,000万(提供は300万MAU) ・対象地域:日本全国 ・データタグ:時間、緯度経度、推定住居メッシュ、推定勤務地メッシュ ・取得感覚:5分～15分	株式会社ログウォッチャー	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができます。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンア ンドフリー化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
87	2020年4月1日	人流データ(ドコモ・インサイトマーケティング)	docomoのケータイ電話の基地局より取得されたモバイルの位置情報。取得データは下記の内容となる。 ・対象地域: 東京23区、横浜市18区、大阪市24区、名古屋16区、福岡市7区 ・対象期間: 2016年7月1日～2017年9月末 ・データ量: 国内約7,600万台訪日外国人約750万台 ・データタグ: 総数・性年代・居住地(市区町村) ・対象地域: 熊本県(もしくは熊本県への流入情報) ・対象期間: 2016年4月1日～2016年7月末 ・データ量: 国内約7,600万台訪日外国人約750万台 ・データタグ: 総数・性年代・居住地(市区町村) ・対象地域: 岐阜県、京都府、兵庫県、岡山県、鳥取県、広島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県の1府10県 ・対象期間: 25日(2018年6月28日～7月8日+前後1週間(特定日)) ・データ量: 国内約7,600万台訪日外国人約750万台 ・データタグ: 総数・性年代・居住地(市区町村)	株式会社ドコモ・インサイトマーケティング	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができる。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンアーカイブ化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
88	2020年4月1日	SNSTwitterデータ (NTTデータ)	Twitter社提供のTweetデータ。Twitterで呟かれた内容・時間・位置情報を含むデータ。 特定の期間の、特定のキーワードを抽出。 ・対象期間: 2016年4月1日～2016年7月末、2016年7月1日～2017年9月末 ・対象キーワード: 交通・豪雨・台風関連キーワード、地震関連キーワード	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができる。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンアーカイブ化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
89	2020年4月1日	レシート購買データ (ワンファイナンシャル)	レシート情報から読み取れる購買データ。店舗の位置情報が緯度経度単位で取得可能。本人確認に基づいた正確なユーザー属性情報が取得。	ワンファイナンシャル株式会社	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができる。	さくらインターネット株式会社 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンアーカイブ化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
90	2020年4月1日	白地図データ (MIERUNE)	WebページやGISなどにすぐ取り込める配信型背景地図データ。 ベースデータはオープンライセンスのOpenStreetMapなどを組み合わせて作成している。	株式会社 MIERUNE	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができる。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンアーカイブ化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
91	2020年4月1日	RESAS	地域経済に関する各省庁の統計データ	経済産業省 内閣官房	自社に保管	100GB以上	ユーザー登録を行うことで、プラットフォーム上のデータを利用できる。複数のデータが同じプラットフォーム上で提供されているため、データ同士の掛け合わせや、ユーザー保有のオリジナルデータとの掛け合わせ、分析を実行することによって成果物を制作することができる。	さくらインターネット株式会社 新規事業部 03-5332-7070(代表)	平成31年度政府衛星データのオープンアーカイブ化・データ利活用促進事業	https://www.tellusxdp.com/
92	2020年4月1日	AhR受容体を用いた塩素/臭素含有化合物のダイオキシン様作用の検出方法確立のための検証データ及び試験所間比較試験結果	AhR受容体を用いた塩素/臭素含有化合物のダイオキシン様作用の検出方法確立のための検証データ及び試験所間比較試験結果	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用・提供について情報開示の要望があった場合は知財運営委員会等で検討し、必要に応じて事業の実施上有益な者に対して成果報告書の記載内容の提供を行う。但し、データクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会 環境管理部門 TEL:03-5209-7707 mail:tarui@jemai.or.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
93	2020年4月1日	フローイムノセンサ方法による水中のダイオキシン類同族体の選択的迅速測定方法の試験所間比較試験結果	フローイムノセンサ方法による水中のダイオキシン類同族体の選択的迅速測定方法の試験所間比較試験結果	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用・提供について情報開示の要望があった場合は知財運営委員会等で検討し、必要に応じて事業の実施上有益な者に対して成果報告書の記載内容の提供を行う。但し、データクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会 環境管理部門 TEL:03-5209-7707 mail:tarui@jemai.or.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
94	2020年4月1日	標準化会議検討資料	国際標準化会議(ISO/IEC/JTC1/SC7WG6)・国内委員会(SC7/WG6小委員会)で利用する対象標準に関する技術検討資料	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	作成日時、検討内容概要を添付し、リスト化して保持。WEBによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
95	2020年4月1日	調査関連資料	標準化フォーラムで実施する調査、実験の資料、議事録	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	作成日時、検討内容概要を添付し、リスト化して保持。WEBによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
96	2020年4月1日	実験資料	標準化のための技術検討を行った結果の資料	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	作成日時、検討内容概要を添付し、リスト化して保持。WEBによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
97	2020年4月1日	普及活動資料	普及活動のために作成した資料(세미나資料、アウトリーチ活動資料)	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	WEBによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
98	2020年4月1日	学会資料	学会で発表した資料のリスト	芝浦工業大学	芝浦工業大学内サーバ	1GB未満	WEBによるアクセスを可能とする	芝浦工業大学情報工学科中島毅 TEL:03-5859-8514 Mail:tsnaka@shibaura-it.ac.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
99	2020年4月1日	熱伝導率経時変化測定試験データ	断熱用吹付け硬質ウレタンフォームにおける熱伝導率経時変化測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	当連盟に保存	10GB以上 100GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:JIS規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟規格部 TEL:03-6661-6812 mail:kaya@pjif.gr.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	JIS規格作成の議論に活用する。
100	2020年4月1日	燃焼性試験測定データ	断熱用吹付け硬質ウレタンフォームにおける燃焼性試験測定結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	当連盟に保存	10GB以上 100GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:JIS規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟規格部 TEL:03-6661-6812 mail:kaya@pjif.gr.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	JIS規格作成の議論に活用する。
101	2020年4月1日	密度試験測定データ	断熱用吹付け硬質ウレタンフォームにおける燃焼性試験測定結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	当連盟に保存	10GB以上 100GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:JIS規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟規格部 TEL:03-6661-6812 mail:kaya@pjif.gr.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	JIS規格作成の議論に活用する。
102	2020年4月1日	プラスチック管材の長期内圧強度測定データ	各種材質の管材の内圧強度試験機による管の長期内圧強度特性を確認し、管材の試験サンプルによる測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	100GB以上	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:JIS規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6812 kamata@pjif.gr.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
103	2020年4月1日	排ガス中の水銀測定法に関するJIS開発の検証試験において取得したデータ及び関連データ	排ガス中の水銀測定法の開発において取得した計測データ	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用及び提供について、情報開示等にて求められた場合は、知財運営委員会等により精査し、成果報告書に記載の内容を公開するものとする。また、事業の実施上有益な者に対して提供を行う。但しデータのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会環境管理部門国際協力・技術センター TEL:03-5209-7707 Mail:ohno@jemai.or.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
104	2020年4月1日	銅・カドミウムカラム還元カラムの小型化検討・検証試験	銅・カドミウム還元カラムの小型化検討のために取得した測定データ	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用・提供について情報開示の要望があった場合は、知財運営委員会等で検討し、必要に応じて事業の実施上有益な者に対して成果報告書の記載内容の提供を行う。但しデータのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会環境管理部門 TEL:03-520-7707 mail:tarui@jemai.or.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
105	2020年4月7日	定点観測における交通流データ	高速道路での定点観測における交通流の映像データと分析データ(走行車両の軌跡データ)	一般財団法人日本自動車研究所	自社に保存	10GB以上 100GB未満	事業の実施上、有益な者に対しての提供を開始。 個人情報を含まない「軌跡データ」のみに限定。	一般財団法人日本自動車研究所企画・管理部 TEL:029-856-1120	平成31年度「高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業:自動走行システムの安全性評価技術構築に向けた研究開発プロジェクト」	
106	2020年5月1日	UAV(LS)フィールドテストの実証実験において得られた関連データ	UAV(LS)フィールドテストの検査規格書を作成する際に検証の意味で取得された3次元データ及びその諸元データ	一般社団法人日本測量機器工業会	自社に保存	1GB以下	ISO検査規格書を作成するために使用するデータであって、PJ以外の外部に提供するものではない。	一般社団法人日本測量機器工業会 TEL:03-3431-5007 URL:http://www.jsima.or.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	
107	2020年5月1日	水中のクロム(VI)及びクロム(Ⅲ)の価数分離測定方法の安定性試験及び試験書簡比較試験結果	水中のクロム(VI)及びクロム(Ⅲ)の価数分離測定方法の安定性試験及び試験書簡比較試験結果	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB未満	データの利活用・提供について情報開示の要望があった場合は知財運営委員会等で検討し、必要に応じて事業の実施上有益な者に対して成果報告書の記載内容の提供を行う。但しデータのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会環境管理部門 TEL:03-5209-7707 mail:tarui@jemai.or.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 (戦略的国際標準化加速事業:産業基盤分野に係る国際標準開発活動)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
108	2020年5月1日	国内外の事例及び取り組みの実態調査	資源循環及び循環経済に関する企業・関連団体等の取り組み及び有識者から得られた国内外の動向に関する調査の一環で得られたデータ、新規提案に向けての情報収集に関連するデータ	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB以上10GB未満	一定期間後に事業の実施上有益な者に対しての提供を開始。但し、委託元(一般財団法人日本規格協会)の了解を得た後、情報源の許可が必要なデータについては情報源の許可を得てから提供とし、データのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター TEL:03-5209-7704 Mail:kato@jemai.or.jp	令和2年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際標準分野(新規対応分野)))	
109	2020年5月1日	循環経済に関する国別・地域別評価手法等調査	資源循環及び循環経済に関連する、HP、文獻、報告書、書籍等調査から入手したデータ国内外の動向、指標、評価手法、ツール等に関する調査の一環で得られたデータ、新規提案に向けての情報収集に関連するデータ	一般社団法人産業環境管理協会	自社に保存	1GB以上10GB未満	一定期間後に事業の実施上有益な者に対しての提供を開始。但し、委託元(一般財団法人日本規格協会)の了解を得た後、情報源の許可が必要なデータについては情報源の許可を得てから提供とし、データのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター TEL:03-5209-7704 Mail:kato@jemai.or.jp	令和2年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際標準分野(新規対応分野)))	
110	2020年5月15日	化学物質暴露試験により得られる魚類中物質濃度変動データ	化学物質暴露試験において得られた魚体中化学物質濃度変動データであり、化学分析により得られるものである	鹿児島大学	鹿児島大学に保存	1G以下	投稿を予定している論文中でデータ公表する。投稿雑誌によっては、サブリメントにより、全てを公開することも検討する。	鹿児島大学水産学部附属海洋資源環境教育研究センター Tel:099-286-4296 mail:uno@fish.kagoshima-u.ac.jp	令和2年度化学物質安全対策「化学法・化審法に係る化学物質管理高度化推進事業」	
111	2021年3月31日	銅、亜鉛精鉱中の銀の湿式定量方法に関する国内共同実験結果	銅、亜鉛精鉱中の銀の湿式定量方法により得られた分析値が乾式分析法によるものと一致しない原因を調査するための国内共同実験結果	日本鉱業協会	自協会に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者及びTC183メンバーに無償で提供。プロジェクト参加者以外の者への提供も、要望があれば無償で提供する。プロジェクト終了後:JIS改定時等に広く公表する。	日本鉱業協会技術部 TEL:03-5280-2327 Mail:hyojunka@kogyo-kyokai.gr.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
112	2021年3月31日	電力半導体デバイスのパワーサイクル試験の応力シミュレーションデータ	電力半導体デバイスのパワーサイクル試験条件を導出するための有限要素法シミュレーションによる応力解析データ	芝浦工業大学	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供する。プロジェクト終了後:一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	芝浦工業大学 工学部材料工学科材料物理研究室 TEL:03-5859-8107 Mail:y_kariya@shibaura-it.ac.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
113	2021年3月31日	電力半導体デバイスのパワーサイクル試験の応力シミュレーション用材料データ	電力半導体デバイスの有限要素法シミュレーションに用いる材料物性に関する実験データ	芝浦工業大学	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供する。プロジェクト終了後:一定期間後に広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	芝浦工業大学 工学部材料工学科材料物理研究室 TEL:03-5859-8107 Mail:y_kariya@shibaura-it.ac.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
114	2021年3月31日	超電導ケーブルの臨界電流測定に及ぼす電流分流の影響―単層シールドについて―	超電導ケーブルの電流-電圧特性から得られた臨界電流値が、電流分布の機構を仮定した理論モデルから求められる結果と一致する事を明らかにした。	一般社団法人日本電線工業会	日本電線工業会に保存	数M程度	IEC国際標準書のAnnexに、RRT結果として掲載する予定	一般社団法人日本電線工業会 IEC/TC90超電導委員会事務局 TEL:03-3542-6031 Mail:tc90nakai@jcma.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
115	2021年3月31日	連続収縮率試験データ	硬化性材料の連続収縮率測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	100GB以上	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6811	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
116	2021年3月31日	非水銀法のPPG不飽和度測定試験データ	非水銀法でのPPG不飽和度測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6811	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
117	2021年3月31日	高感度発光計測法試験データ	高感度発光計測法での測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	100GB以上	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6811	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
118	2021年3月31日	LED照明下劣化特性試験データ	LED照明下でのポリマー劣化特性測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6811	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
119	2021年3月31日	プラズマ発光分析測定データ	プラズマ発光分析法によるアルミニウム合金中の元素分析データ	日本アルミニウム協会	日本アルミニウム協会 およびプロジェクト委員会 で保存	1GB未満	国内共同分析、国際共同分析によるデータの信頼性評価のために、各国研究機関に公開・提供する。また学会発表を通してデータを公開する。プロジェクト期間中：プロジェクト参加者には無償で提供。また学会発表で広く公表する。プロジェクト終了後：広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本アルミニウム協会 Tel03-3538-0221	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業：政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
120	2021年3月31日	コネクタの挿入損失に関するデータ	コネクタの挿入損失に関するデータで、評価方法の妥当性を証明するバックデータ	産業技術総合研究所	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中、終了後問わず、情報として提供する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量標準総合センター 物理計測標準研究部門 堀部雅弘 tel：029-861-4294 e-mail:masahiro-horibe@aist.go.jp	令和2年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業：政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
121	2022年3月31日	廃棄体パッケージの閉じ込め性能に係る試験と評価における内部充填材の検討に関わる試験データ	廃棄体パッケージの閉じ込め性能に係る試験と評価における内部充填材の検討に関わる充填材の水系発生量、特性値等の試験データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分バリエーションシステム研究開発部 TEL:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
122	2022年3月31日	廃棄体パッケージの閉じ込め性能に係る試験と評価における溶接部等に関するデータ	廃棄体パッケージの閉じ込め性能に係る試験と評価における溶接試験および残留応力解析等に関するデータ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分バリエーションシステム研究開発部 TEL:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
123	2022年3月31日	陰イオン核種に対する閉じ込め技術の開発におけるヨウ素閉じ込め技術に関わる試験データ	陰イオン核種に対する閉じ込め技術の開発におけるヨウ素閉じ込め技術に関わる試験データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分バリエーションシステム研究開発部 TEL:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
124	2022年3月31日	陰イオン核種に対する閉じ込め技術の開発における陰イオン吸着材に関わる試験データ	陰イオン核種に対する閉じ込め技術の開発における陰イオン吸着材に関わる試験データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分バリエーションシステム研究開発部 TEL:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
125	2022年3月31日	閉鎖前安全性の評価技術の整備に関連したデータ	模擬アスファルト固化体の熱量測定データ及び硝酸塩と有機物の反応機構に関わるデータ	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構基盤技術研究開発部システム性能研究グループ TEL:029-282-1133 内線67400 Mail:mihara.morihiro@jaea.go.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
126	2022年3月31日	廃棄体からの核種溶出モデルの高度化に関わる試験データ	廃棄体からの核種溶出モデルの高度化に関わるハル等廃棄体の核種分布や核種溶出率のデータ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分バリエーションシステム研究開発部 TEL:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
127	2022年3月31日	ニアフィールド構成要素の現象解析モデルの構築・高度化に関連したデータ	HFSC及びHFSC/緩衝材の変質試験で得られたデータ及び生成する二次鉱物に関わるデータ	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構基盤技術研究開発部システム性能研究グループ TEL:029-282-1133 内線67400 Mail:mihara.morihiro@jaea.go.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
128	2022年3月31日	ニアフィールド構成要素の現象解析モデルの構築・高度化におけるナチュラアナログデータ	ニアフィールド構成要素の現象解析モデルの構築・高度化において、フィリピン、のナチュラアナログ試料の鉱物分析、化学分析データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分バリエーションシステム研究開発部 TEL:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
129	2022年3月31日	廃棄体由来の発生ガスに関する現象解析モデルの妥当性検討における試験条件データ	廃棄体由来の発生ガスに関する現象解析モデルの妥当性検討における事例調査および既往の試験結果をもとにした予察解析データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分バリエーションシステム研究開発部 TEL:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	
130	2022年3月31日	廃棄体由来の発生ガスに関する現象解析モデルの妥当性検討におけるベントナイトの試験データ	廃棄体由来の発生ガスに関する現象解析モデルの妥当性検討におけるベントナイトの化学的変質及び力学挙動の試験データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分バリエーションシステム研究開発部 TEL:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業（TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発）	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
131	2022年3月31日	有機物の影響評価モデルの高度化に関連したデータ	ISA等の有機配位子が遷移元素の溶解度や収着に及ぼす影響に関わるデータ及び溶解度試験で得られたデータ	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構基盤技術研究開発部システム性能研究グループ TEL:029-282-1133 Mail:mihara.morihiro@jaea.go.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
132	2022年3月31日	硝酸塩の現象解析モデルの妥当性検討に関連したデータ	硝酸イオンの変遷に関する調査で得られたデータ	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構基盤技術研究開発部システム性能研究グループ TEL:029-282-1133 内線67400 Mail:mihara.morihiro@jaea.go.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
133	2022年3月31日	(1)①オーバーバックの腐食挙動に関する試験データ	過渡状態を想定した環境条件における腐食試験により得られる腐食データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr澤田淳 Tel:029-282-1133 (内線:67600)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
134	2022年3月31日	(1)①緩衝材の特性に関するデータ	ベントナイトの基本特性や地下水の浸潤過程での力学的挙動を把握するための膨潤、透水等の室内試験等に関するデータ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr澤田淳 Tel:029-282-1133 (内線:67600)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
135	2022年3月31日	(1)③現象解析モデルの統合化技術の構築におけるニアフィールド複合現象等の解析データ	現象解析モデルの統合化技術の構築におけるニアフィールド複合現象等の解析システムの感度解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr澤田淳 Tel:029-282-1133 (内線:67600)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
136	2022年3月31日	(1)②有機物・微生物の影響評価モデルの高度化における試験・解析データ	天然有機物や微生物の特性や核種との相互作用に関する試験・分析データ、及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr澤田淳 Tel:029-282-1133 (内線:67600)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
137	2022年3月31日	(2)①ニアフィールドにおける状態変遷を考慮した核種移行解析モデルの構築における試験・解析データ	ニアフィールドにおける鉄製オーバーバックと緩衝材との相互作用、セメント系材料と緩衝材及び岩石との相互作用が核種移行に及ぼす影響に関する試験・分析データ、及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr澤田淳 Tel:029-282-1133 (内線:67600)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
138	2022年3月31日	(2)②水みちの微細透水構造などを反映した核種移行解析モデルの構築・高度化における試験・解析データ	ニアフィールド岩盤中の核種移行評価に関する試験・分析データ、及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr澤田淳 Tel:029-282-1133 (内線:67600)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
139	2022年3月31日	(3)①想定される様々な処分場環境を対象とした核種移行パラメータ設定に資するデータの拡充における試験・解析データ	比較的炭酸濃度が高い地下水が存在する場における岩石への収着・拡散評価に関する試験・分析データ、及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部ニアフィールド研究Gr澤田淳 Tel:029-282-1133 (内線:67600)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
140	2022年3月31日	(1)①緩衝材流出現象の把握及び工学的対策効果の確認のために取得する、水圧、土圧(膨潤圧)、密度等のデータ	緩衝材の流出現象の把握及び工学的対策効果の確認のために取得する、水圧、土圧(膨潤圧)、密度等のデータ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	地層処分工学技術研究開発部江守稔 Tel:03-6264-2111(代)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
141	2022年3月31日	(1)①緩衝材の浸潤プロセスに係る試験により取得したデータ	緩衝材の再冠水期間の擾乱期の状態変遷を評価するためのモデル試験により取得するデータ、及び解析データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	地層処分工学技術研究開発部江守稔 Tel:03-6264-2111(代)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
142	2022年3月31日	回収技術の高度化開発における要素試験で取得したデータ	流体式除去技術の開発における、噴射要素試験やスラリー沈降試験のデータ。機械的除去技術の開発における、切削抵抗試験のデータ。	原子力環境整備促進・資金管理センター	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後:一次データ(生データ)については、一定期間後(PJ終了後3年以上)に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-2111 Mail:m-kobayashi@rwm.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(回収可能性技術高度化開発)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
143	2022年3月31日	回収容易性を高めた詳細設計オプションの開発で取得したデータ	地層処分概念としての成立性の検討における数値解析等によって得られたデータ(廃棄体の搬送に係る機械的強度の解析結果)	原子力環境整備促進・資金管理センター	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後:一次データ(生データ)については、一定期間後(PJ終了後3年以上)に事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-2111 Mail:m-kobayashi@rwmc.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(回収可能性技術高度化開発)	
144	2022年3月31日	回収可能性の維持に伴う影響評価技術の整備で取得したデータ	室内試験等で得られた物理試験データ、力学試験データおよびSEM観察・SEM/EDS分析で得られた画像データ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後:一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター堆積岩処分技術開発グループ TEL:01632-5-2022 Mail:matsui.hiroya@jaea.go.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(回収可能性技術高度化開発)	
145	2022年3月31日	回収可能性の維持に伴う影響評価技術の整備に関する解析データ	幌延の深度350m坑道周辺地質環境の概念モデル構築や数値解析のためのパラメータ設定のために調査した文献リスト、文献調査結果および図表データ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後:一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター堆積岩処分技術開発グループ TEL:01632-5-2022 Mail:matsui.hiroya@jaea.go.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(回収可能性技術高度化開発)	
146	2022年3月31日	加工実証時の加工工程における作業記録写真または動画により撮像したデータ及び関連データ	加工実証時の加工工程における作業記録写真または動画により撮像したデータ及び関連データであり、クリアランス金属の搬入出、前処理(裁断)、インゴットの製造時の画像データであり報告書に掲載されるデータ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB以上10GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	
147	2022年3月31日	加工実証時の加工工程における作業記録写真または動画により撮像したデータ及び関連データ	加工実証時の加工工程における作業記録写真または動画により撮像したデータ及び関連データであり、インゴットの製造時の画像や動画の一部であり報告書に掲載されないデータ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB以上10GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	
148	2022年3月31日	加工実証時のクリアランス金属調達に関連するデータ	加工実証時のクリアランス金属調達に関連するデータであり、調達したクリアランス金属(東海発電所)のクリアランス測定データ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	
149	2022年3月31日	加工実証時のクリアランス金属調達に関連するデータ	加工実証時のクリアランス金属調達に関連するデータであり、調達したクリアランス金属(ふげん)のクリアランス測定データ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/KKAN/320000031.html 「関係資料」放射能濃度の確認申請書(一部補正)に掲載されている
150	2022年3月31日	加工実証時の鋳造時における成分分析データ	加工実証時の鋳造時における成分分析データであり、製造したインゴットの成分分析(14元素)データ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	
151	2022年3月31日	加工実証時の放射線線量測定の計測データ及び関連データ	加工実証時の放射線線量測定の計測データ及び関連データであり、線量測定、汚染検査、空气中汚染濃度の計測データ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	
152	2022年3月31日	加工実証時の放射能濃度測定の計測データ及び関連データ	加工実証時の放射線線量測定の計測データ及び関連データであり、線量測定、汚染検査、空气中汚染濃度の計測データであり、ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトルデータ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	
153	2022年3月31日	有識者による検討委員会における写真または動画により撮像したデータ及び関連データ	有識者による検討委員会における写真または動画により撮像したデータ及び関連データであり、画像データ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	
154	2022年3月31日	有識者による検討委員会における写真または動画により撮像したデータ及び関連データ	有識者による検討委員会における写真または動画により撮像したデータ及び関連データであり、動画、音声データ	株式会社ピー・ティー・ビー	自社に保存	1GB以上10GB未満	クリアランス金属再利用の事例調査。 依頼後データ提供。データ使用時はクレジットを表記する。	株式会社ピー・ティー・ビー info@ptpxp.org	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(原子力発電所等金属廃棄物利用技術確証試験)	
155	2022年3月31日	初期地圧測定技術の高度化開発に係るデータ	初期地圧測定装置の開発に関連して実施した室内試験結果及び関連データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原環センター低レベル廃棄物処分研究開発部 藤原啓司 Tel:03-6264-2111(代)	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(地下空洞型処分調査技術高度化開発)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
156	2022年3月31日	地震動計測データ	原位置試験フィールドで観測した地震動データ及び関連データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原環センター低レベル廃棄物処分研究開発部 藤原啓司 Tel:03-6264-2111(代)	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(地下空洞型処分調査技術高度化開発)	
157	2022年3月31日	ベントナイト系材料の移行抑制性能メカニズム研究に係るデータ	ベントナイト系材料の移行抑制性能メカニズム研究のために実施した室内試験結果及び関連データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原環センター低レベル廃棄物処分研究開発部 藤原啓司 Tel:03-6264-2111(代)	令和3年度低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発事業(地下空洞型処分調査技術高度化開発)	
158	2022年3月31日	(1)①処分容器の腐食挙動に関する試験データ	純銅や純銅以外の候補材料に対する腐食試験により得られる腐食データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部 牧野仁史 Tel:029-282-1133(内線:67702)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
159	2022年3月31日	(1)②使用済燃料の処分後の臨界安全に関する解析データ	燃料や処分容器等の材料の状態や配置が臨界安全性に及ぼす影響を把握するための解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部 牧野仁史 Tel:029-282-1133(内線:67702)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
160	2022年3月31日	(2)①使用済燃料からの核種放出挙動に関する試験データ	ウラン酸化物の溶解挙動に関する試験データ、及び、使用済燃料からの核種放出挙動に関する実燃料を用いた試験データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部 牧野仁史 Tel:029-282-1133(内線:67702)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
161	2022年3月31日	(2)②緩衝材の変質挙動に関する試験データ	銅と緩衝材との相互作用を把握するための様々な条件における緩衝材の変質に関する試験データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所基盤技術研究開発部 牧野仁史 Tel:029-282-1133(内線:67702)	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
162	2022年3月31日	シーリングシステム長期性能評価に関する解析データ	多様な地質環境条件を想定したシーリングシステムの長期性能を評価するための数値解析によって得られたデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中：一次データ含め同一プロジェクト参加者には無償で提供し、成果の外部発信に利用する。プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター堆積岩処分技術開発グループ TEL:01632-5-2022 Mail:matsui.hiroya@jaea.go.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確認試験)	
163	2022年3月31日	シーリング技術の性能確認で取得したデータ	埋め戻し材や止水プラグ等のシーリング技術の性能確認を行うために実施する室内・原位置試験(EDZ連続性調査、EDZシーリング試験等)や数値解析(膨潤変形挙動、トモグラフィ等)により取得するデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中：一次データ含め同一プロジェクト参加者には無償で提供し、成果の外部発信に利用する。プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター堆積岩処分技術開発グループ TEL:01632-5-2022 Mail:matsui.hiroya@jaea.go.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確認試験)	
164	2022年3月31日	坑道シーリングに関わる施工技術の整備で取得したデータ	埋め戻し材等に関して、個別材料要素の組合せをパラメータとした要素試験等により取得したデータ及び施工試験等により取得した施工特性や施工品質データ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中：一次データ含め同一プロジェクト参加者には無償で提供し、成果の外部発信に利用する。プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-1615 Mail:kawakubo.masahiro@rwmc.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確認試験)	
165	2022年3月31日	地下構成要素を対象とした計測関連技術の整備で取得したデータ	埋め戻し材の品質保証と性能確認を目的とした要素試験等により取得したデータ及び無線技術の適用性の確認を目的とした要素試験等により取得したデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中：一次データ含め同一プロジェクト参加者には無償で提供し、成果の外部発信に利用する。プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-1615 Mail:kawakubo.masahiro@rwmc.or.jp	令和3年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確認試験)	
166	2022年3月31日	連続収縮率試験データ	硬化性材料の連続収縮率測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中：当連盟に保存 終了後：当連盟に保存	100GB以上	プロジェクト期間中：プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後：ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6812	令和3年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業：政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
167	2022年3月31日	非水銀法のPPG不飽和度測定試験データ	非水銀法でのPPG不飽和度測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中：当連盟に保存 終了後：当連盟に保存	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中：プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後：ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6812	令和3年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業：政府戦略分野に係る国際標準開発活動	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
168	2022年3月31日	高感度発光計測法試験データ	高感度発光計測法での測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	100GB以上	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6812	令和3年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
169	2022年3月31日	LED照明下劣化特性試験データ	LED照明下でのポリマー劣化特性測定試験結果をまとめる。	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6812	令和3年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
170	2022年3月31日	プラズマ発光分析測定データ	プラズマ発光分析法によるアルミニウム合金中の元素分析データ	日本アルミニウム協会	日本アルミニウム協会 およびプロジェクト委員会 で保存	1GB未満	国内共同分析、国際共同分析によるデータの信頼性評価のために、各国研究機関に公開・提供する。また学会発表を通してデータを公開する。 プロジェクト期間中:プロジェクト参加者には無償で提供。また学会発表で広く公表する。 プロジェクト終了後:広く公表する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本アルミニウム協会 Tel03-3538-0221	令和3年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
171	2022年3月31日	銅、亜鉛精鉱中の銀の湿式定量方法に関する国際共同実験結果	銅、亜鉛精鉱中の銀の湿式定量方法の分析精度を確認するための国際共同実験結果	日本鉱業協会	自協会に保存	1GB未満	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者及びTC183メンバーに無償で提供。プロジェクト参加者以外の者への提供も、要望があれば無償で提供する。 プロジェクト終了後:JIS改定時等に広く公表する。	日本鉱業協会技術部 TEL:03-5280-2327 Mail:hyojunka@kogyo-kyokai.gr.jp	令和3年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
172	2022年3月31日	実証試験のためプラスチックの物性測定	リサイクルしたプラスチックの強度測定等を実施する	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6812	令和3年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
173	2022年3月31日	実証試験のためプラスチックの物性測定	リサイクルしたプラスチックの強度測定等を実施する	日本プラスチック工業連盟	期間中:当連盟に保存 終了後:当連盟に保存	1GB以上 10GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者でデータを共有して、規格開発の議論に使用する。 終了後:ISO規格としての公表の形とすることをプロジェクト参加者と確認して決定する。	日本プラスチック工業連盟 TEL:03-6661-6812	令和3年度産業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業:政府戦略分野に係る国際標準開発活動	
174	2022年5月9日	交通外乱データ(計測車両)	計測車両により取得される、実際の交通環境のデータ ・カメラによる画像 ・LiDARによる点群データ ・GNSSデータ ・IMU(生データ)	JARI	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	100GB以上	◆プロジェクト参加者(再委託先、推進委員会、連携する機関:一社)日本自動車工業会):無償で利用可 ◆プロジェクト参加者以外の第三者:プロジェクト終了後、別途許諾条件を協議した上で利用を許諾する	一般財団法人日本自動車研究所 企画・管理部 TEL:029-856-1120	令和3年度「無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業(自動走行システムの安全性評価基盤構築に向けた研究開発プロジェクト)」	
175	2022年5月9日	物標認識結果(LiDAR)	No.174に含まれる点群データを元に、計測車両周辺の物体の位置を認識した結果 (数値情報:個人情報無し)	JARI	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10GB以上 100GB未満	◆プロジェクト参加者(再委託先、推進委員会、連携する機関:一社)日本自動車工業会):無償で利用可 ◆プロジェクト参加者以外の第三者:プロジェクト終了後、別途許諾条件を協議した上で利用を許諾する	一般財団法人日本自動車研究所 企画・管理部 TEL:029-856-1120	令和3年度「無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業(自動走行システムの安全性評価基盤構築に向けた研究開発プロジェクト)」	
176	2022年5月9日	物標認識結果(画像)	No.174に含まれる画像を元に、計測車両周辺の物体の位置を認識した結果 (数値情報:個人情報無し)	JARI	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10GB以上 100GB未満	◆プロジェクト参加者(再委託先、推進委員会、連携する機関:一社)日本自動車工業会):無償で利用可 ◆プロジェクト参加者以外の第三者:プロジェクト終了後、別途許諾条件を協議した上で利用を許諾する	一般財団法人日本自動車研究所 企画・管理部 TEL:029-856-1120	令和3年度「無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業(自動走行システムの安全性評価基盤構築に向けた研究開発プロジェクト)」	
177	2022年5月9日	自車/他車位置情報	No.174のGNSSデータおよび物標認識結果を基にマップマッチングを行い、計測車およびその周辺物体が道路上のどこにいるのかを検出した結果 (数値情報:個人情報無し)	JARI	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10GB以上 100GB未満	◆プロジェクト参加者(再委託先、推進委員会、連携する機関:一社)日本自動車工業会):無償で利用可 ◆プロジェクト参加者以外の第三者:プロジェクト終了後、別途許諾条件を協議した上で利用を許諾する	一般財団法人日本自動車研究所 企画・管理部 TEL:029-856-1120	令和3年度「無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業(自動走行システムの安全性評価基盤構築に向けた研究開発プロジェクト)」	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
178	2022年5月9日	定点観測による交通環境データ(分岐路・合流路)	分析データ(走行車両などの軌跡位置データ)、道路測量データ(白線位置データ)	JARI	期間中: 自社に保存 終了後: 自社に保存	120GB	◆プロジェクト参加者(再委託先、推進委員会、連携する機関: 一社)日本自動車工業会) : 無償で利用可 ◆プロジェクト参加者以外の第三者: プロジェクト終了後、別途許諾条件を協議した上で利用を許諾する	一般財団法人日本自動車研究所 企画・管理部 TEL: 029-856-1120	令和3年度「無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業(自動走行システムの安全性評価基盤構築に向けた研究開発プロジェクト)」	
179	2022年5月9日	交通外乱シナリオ該当データ(アルゴリズム検証用)	交通外乱シナリオに該当するデータが含まれるかを示すタイムスタンプ、およびそれを基に分割されたデータ(数値情報: 個人情報無し)	JARI	期間中: 自社に保存 終了後: 自社に保存	10GB以上 100GB未満	◆プロジェクト参加者(再委託先、推進委員会、連携する機関: 一社)日本自動車工業会) : 無償で利用可 ◆プロジェクト参加者以外の第三者: プロジェクト終了後、別途許諾条件を協議した上で利用を許諾する	一般財団法人日本自動車研究所 企画・管理部 TEL: 029-856-1120	令和3年度「無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業(自動走行システムの安全性評価基盤構築に向けた研究開発プロジェクト)」	
180	2022年5月9日	交通外乱シナリオ該当データ分析結果	交通外乱シナリオ該当データをもとにシナリオごとの特性などをパラメータ化・分析したもの	JARI	期間中: 自社に保存 終了後: 自社に保存	10GB以上 100GB未満	◆プロジェクト参加者(再委託先、推進委員会、連携する機関: 一社)日本自動車工業会) : 無償で利用可 ◆プロジェクト参加者以外の第三者: プロジェクト終了後、別途許諾条件を協議した上で利用を許諾する	一般財団法人日本自動車研究所 企画・管理部 TEL: 029-856-1120	令和3年度「無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業(自動走行システムの安全性評価基盤構築に向けた研究開発プロジェクト)」	
181	2022年5月17日	課題1関連データ	サプライチェーン全体を通じた化学物質の情報管理に必要な解析データ	大阪大学 大学院工学研究科 東海研究室	大阪大学 大学院工学研究科 東海研究室に保存	10MB	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 環境マネジメント学領域東海研究室 TEL: 06-6879-7676 Mail: tokai@see.eng.osaka-u.ac.jp	令和4年度化学物質安全対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業(ライフサイクルアセスメントの視点に基づく化学物質管理のあり方)」	該当なし
182	2022年5月17日	課題2関連データ	日本で生産・製造された化学物質を含有する製品を多数輸入している途上国での管理状況、それに伴うヒト健康、環境影響への化学物質のリスク評価解析データ	大阪大学 大学院工学研究科 東海研究室	大阪大学 大学院工学研究科 東海研究室に保存	10MB	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 環境マネジメント学領域東海研究室 TEL: 06-6879-7676 Mail: tokai@see.eng.osaka-u.ac.jp	令和4年度化学物質安全対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業(ライフサイクルアセスメントの視点に基づく化学物質管理のあり方)」	該当なし
183	2023年2月15日	超電導線材の特性評価結果Ic(B,T)、交流損失(B,T,θ)	超電導線材のIc(B,T)、交流損失(B,T,θ)に関するデータ	九州大学	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	九州大学先進電気推進飛行体研究センター TEL: 092-802-3655 Mail: jimu.e-aircraft@sc.kyushu-u.ac.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	
184	2023年2月15日	超電導モータの数値解析を用いた設計検討結果	超電導モータの数値解析ソフトを用いた設計検討に関するデータ	九州大学	自社に保存	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	九州大学先進電気推進飛行体研究センター TEL: 092-802-3655 Mail: jimu.e-aircraft@sc.kyushu-u.ac.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	
185	2023年2月15日	超電導モータの特性評価結果	超電導モータの特性評価に関するデータ	九州大学	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	九州大学先進電気推進飛行体研究センター TEL: 092-802-3655 Mail: jimu.e-aircraft@sc.kyushu-u.ac.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	
186	2023年2月15日	機体概略仕様	機体概略仕様に関するデータ	グローバル・アシスト	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	株式会社グローバル・アシスト TEL: 052-259-2271 Mail: mina_ueda@global-assist.co.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	
187	2023年2月15日	機体仕様に基づく超電導推進システム仕様	機体仕様に基づく超電導推進システム仕様に関するデータ	グローバル・アシスト	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	株式会社グローバル・アシスト TEL: 052-259-2271 Mail: mina_ueda@global-assist.co.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	
188	2023年2月15日	機体仕様に基づくガスタービン仕様	機体仕様に基づくガスタービン仕様に関するデータ	グローバル・アシスト	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	株式会社グローバル・アシスト TEL: 052-259-2271 Mail: mina_ueda@global-assist.co.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	
189	2023年2月15日	機体コンセプト	機体コンセプトに関するデータ	グローバル・アシスト	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	株式会社グローバル・アシスト TEL: 052-259-2271 Mail: mina_ueda@global-assist.co.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	
190	2023年2月15日	機体レイアウト	機体レイアウトに関するデータ	グローバル・アシスト	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	株式会社グローバル・アシスト TEL: 052-259-2271 Mail: mina_ueda@global-assist.co.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	
191	2023年2月15日	機体三面図	機体三面図に関するデータ	グローバル・アシスト	自社に保存	100GB以上	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。	株式会社グローバル・アシスト TEL: 052-259-2271 Mail: mina_ueda@global-assist.co.jp	令和4年度国際研究教育拠点推進事業(長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成する水素ドローンの研究開発)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
192	2023年2月15日	ガスタービンの性能評価結果	ガスタービンの圧縮機、タービンの性能解析ソフトを用いた設計検討に関するデータ	エイエスアイエアロスペース	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。	エイエスアイエアロスペース TEL:090-2304-2766 Mail: oota_aero8947@sirius.ocn.ne.jp□	令和4年度国際研究教育拠点推進事業 (長時間飛行・高ベロロードを実現し、 カーボンニュートラルを達成する水素ド ローンの研究開発)	
193	2023年2月15日	ガスタービンの軸系危険速度評価結果	ガスタービン軸系危険速度の設計解析ソフトを用いた設計、 検討に関するデータ	エイエスアイエアロスペース	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。	エイエスアイエアロスペース TEL:090-2304-2766 Mail: oota_aero8947@sirius.ocn.ne.jp□	令和4年度国際研究教育拠点推進事業 (長時間飛行・高ベロロードを実現し、 カーボンニュートラルを達成する水素ド ローンの研究開発)	
194	2023年2月15日	「ロボット性能評価とスマートプログラミング環境」に向けた研究及び調査において、収集したロボット動作・走行記録観測データ	JAEA構葉連隔技術開発センターの施設を利用して取得したクローラロボット等の動作解析用データ。 ロボットが走行中に生成した内部ログデータ、ロボットに搭載のLiDARが取得した周囲の点群データ、およびモーションキャプチャによるロボットの動作(機体ジオメトリ)を含む。 実機データとロボットシミュレーターとを併用した動作解析に利用することを目的として取得した。	会津大学	本学に保管	10GB以上100GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後：一定期間後に事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。データのクレジット表記等については別途定める。	公立大学法人会津大学 コンピュータ理工学科／情報システム学部 教授・情報システム学部門長成瀬継太郎 TEL:0242-37-2609 Mail:naruse@u-aizu.ac.jp	令和4年度「国際研究教育拠点推進事業 (新産業創出等研究開発基本計画に基 づくロボット・ドローンに係る先行研究事 業)」	
195	2023年2月22日	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において計測・取得したデータおよびアンケートデータ	参加者(チケット購入者)へのアンケート調査結果EVマイクロモビリティ利用者へのアンケート調査結果	委託事業者	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1G未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec- ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業)「大山周辺観光の利便性向上に向けた持続可能な周遊交通の実証事業」	
196	2023年3月10日	新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクトのアンケートデータ	新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクトにおいて地域住民より取得したアンケートデータ及び関連データ	サツドラホールディングス株式会社	自社に保存	1GB未満	実証事業終了後のサービスの受容性や実装に向けた意見、課題をアンケートから分析をし、事業のレポート作成に活用	インキュベーションチーム 担当：杉山 TEL:080-3297-0408	地域新MaaS創出推進事業：新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクト	
197	2023年3月10日	新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクトの利用登録者と利用者乗降データ	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業：新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクト」の実証実験において、新たなモビリティサービスの導入効果を検証するために、取得した利用登録者と利用者乗降データ	サツドラホールディングス株式会社	自社に保存	1GB未満	実証事業におけるサービスの利用登録者と利用者乗降データ	インキュベーションチーム 担当：杉山 TEL:080-3297-0408	地域新MaaS創出推進事業：新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクト	
198	2023年3月10日	新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクトの利用登録者の共通ポイントカードの利用状況データ	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業：新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクト」の実証実験において、新たなモビリティサービスの導入効果を検証するために、取得した利用登録者の共通ポイントカードの利用状況データ	サツドラホールディングス株式会社	自社に保存	1GB未満	実証事業におけるサービスの利用登録者の共通ポイントカードの利用状況データ	インキュベーションチーム 担当：杉山 TEL:080-3297-0408	地域新MaaS創出推進事業：新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクト	
199	2023年3月10日	新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクトの利用登録者のお買物実績、POSデータ	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業：新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクト」の実証実験において、新たなモビリティサービスの導入効果を検証するために、取得した利用登録者のお買物実績、POSデータ	サツドラホールディングス株式会社	自社に保存	1GB未満	実証事業におけるサービスの利用登録者のお買物実績、POSデータ	インキュベーションチーム 担当：杉山 TEL:080-3297-0408	地域新MaaS創出推進事業：新MaaS創出を通じた地域経済活性化と実装化に向けた収益循環モデル江差マースプロジェクト	
200	2023年3月16日	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において取得したスマートフォンアプリの移動ログデータ (ファイル名：geolocation_date_YYMMDD.csv)	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において、実験用スマートフォンアプリを被験者のスマートフォンにインストール頂き、取得した移動ログ、GPS位置情報の全データ。	株式会社ゼンリン	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1GB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec- ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所 TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業：地域住民の移動促進と移動データ分析による公共交通計画の最適化～なみえ・DOプロジェクト～)」	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
201	2023年3月16日	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において取得したスマートフォンアプリの移動ログデータ (ファイル名: activity_date_YYMMDD.csv)	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において取得した被験者のアンケートデータ。普段の外出の目的や意識、アプリの満足度、アプリを用いた上での外出頻度や外出への意識の変化など。1トリップ=1レコードのデータ群。	株式会社ゼンリン	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1GB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所 TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:地域住民の移動促進と移動データ分析による公共交通計画の最適化～なみえI・DOプロジェクト～)」	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/
202	2023年3月16日	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において取得したアンケートデータ	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において取得した被験者のアンケートデータ。普段の外出の目的や意識、アプリの満足度、アプリを用いた上での外出頻度や外出への意識の変化など。	株式会社ゼンリン	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1GB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所 TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:地域住民の移動促進と移動データ分析による公共交通計画の最適化～なみえI・DOプロジェクト～)」	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/
203	2023年3月16日	アプリUIDとアンケートID照合表.xlsx	geolocation_date及びactivity_dateと、アンケートのUID照合表	株式会社ゼンリン	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1GB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所 TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:地域住民の移動促進と移動データ分析による公共交通計画の最適化～なみえI・DOプロジェクト～)」	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/
204	2023年3月17日	AIオンデマンド交通トリップデータ	AIオンデマンド交通の配車実績データ	委託事業者	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1GB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:都市部の交通不便エリアにおける新たなモビリティサービスの導入)	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/
205	2023年3月17日	AIオンデマンド交通事後アンケート調査データ	AIオンデマンド交通利用者事後アンケート調査データ	委託事業者	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1GB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:都市部の交通不便エリアにおける新たなモビリティサービスの導入)	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/
206	2023年3月17日	自動運転ゆつくりカー乗車アンケート調査データ	自動運転体験乗車事後アンケート調査データ	委託事業者	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1GB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:都市部の交通不便エリアにおける新たなモビリティサービスの導入)	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
207	2023年3月17日	20230310_経産省 MaaS_運行監視データ	名古屋エキシロMaaS実証実験において、運行監視システムで計測したデータ	委託事業者	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	1GB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:都市部の交通不便エリアにおける新たなモビリティサービスの導入)	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/
208	2023年3月24日	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験に係る実証事業報告書	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において、検証したデータ、及びその分析、検証結果について	BOLDLY株式会社	自社に保存	10GB以内	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:自動運転車両での複数サービス提供による収益・財源多角化検証)」	
209	2023年3月24日	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験に係る実証事業報告書	実証事業報告書に掲載した自動運転に関する走行データ	BOLDLY株式会社	自社に保存	10GB以内	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:自動運転車両での複数サービス提供による収益・財源多角化検証)」	
210	2023年3月24日	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において計測・取得したアンケートデータ	実証事業報告書に活用した元データとなるローデータ	BOLDLY株式会社	自社に保存	10GB以内	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:自動運転車両での複数サービス提供による収益・財源多角化検証)」	
211	2023年3月27日	三重県6町における「マルチタスク車両を活用したオンデマンド医療MaaS」の医療・行政MaaS実証実験において取得したアンケートデータ	・医療MaaS実証実験におけるオンライン診療／オンライン服薬指導の利用者アンケート結果データ・行政MaaS実証実験における行政サービスの利用者アンケート結果データ・行政MaaS実証実験における行政担当者へのアンケート結果データ	MRT株式会社	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存	1MB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:マルチタスク車両を活用したオンデマンド医療MaaS)	サンプルデータを下記URLにて提供。 https://www.mobilitychallenge.go.jp/login/
212	2023年3月30日	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において取得したアンケートデータ	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験において、MaaSダッシュボードの導入効果を検証するために、取得したアンケートデータ ○項目は以下のとおり ・施策の確からしさ ・受容性 ・送迎負担 ・外出促進 ・近隣住民 ・観光客	国立研究開発法人産業技術総合研究所	スマートモビリティ推進協議会のサーバーに保存。	3MB	一定期間後にスマートモビリティ推進協議会会員に対して提供を開始する。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS創出推進事業:地域公共交通最適化に向けたMaaSダッシュボード構築業務)」	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
213	2023年3月31日	20230213WHILL & け やき号アンケート	電動車いす実証モニターに対して実施したアンケートデータ	委託事業者	スマートモビリティ推進 協議会のサーバーに 保存。	1MB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進 協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とす る。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec- ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対 応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS 創出推進事業:人・モノの移動の効率化 による誰もが暮らしやすいまちへの挑 戦)」	サンプルデータを下記URLに て提供。 https://www.mobilitychallenge e.go.jp/login/
214	2023年3月31日	20230213WHILL & け と同じファイル)	乗合タクシー実証モニターに対して実施したアンケートデータ	委託事業者	スマートモビリティ推進 協議会のサーバーに 保存。	1MB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進 協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とす る。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec- ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対 応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS 創出推進事業:人・モノの移動の効率化 による誰もが暮らしやすいまちへの挑 戦)」	サンプルデータを下記URLに て提供。 https://www.mobilitychallenge e.go.jp/login/
215	2023年3月31日	危険・問題あり箇所 アンケート回答 (2022.11)	電動車いす実証モニターに対して実施したアンケートデータ	委託事業者	スマートモビリティ推進 協議会のサーバーに 保存。	1MB以上2MB 未満	一定期間後にスマートモビリティ推進 協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とす る。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec- ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対 応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS 創出推進事業:人・モノの移動の効率化 による誰もが暮らしやすいまちへの挑 戦)」	サンプルデータを下記URLに て提供。 https://www.mobilitychallenge e.go.jp/login/
216	2023年3月31日	分析用_入間実績とり まとめ	令和4年度「地域新MaaS創出推進事業」の実証実験におい て、被験者の性別・年齢・介護度を示す一覧に対してチョイソ コ利用実績、イベント参加実績、歩数データを網羅したエクセ ルデータ。行動変容を促す取り組み「チョイトーク」対象者も 記載	株式会社アイシ ン	スマートモビリティ推進 協議会のサーバーに 保存	100KB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進 協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とす る。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000 Mail:M-smartmobilitychallenge-sec- ml@aist.go.jp 株式会社野村総合研究所TEL:03-5877-7382 Mail:mobichalle@nri.co.jp 日本工営株式会社 TEL:03-3238-8277 Mail:ml-mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対 応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS 創出推進事業:交通と福祉の連携によ る、社会保障費削減効果の可視化)」	サンプルデータを下記URLに て提供。 https://www.mobilitychallenge e.go.jp/login/
217	2023年3月31日	分析用_アンケートとり まとめ	被験者の免許保有状況別移動手段の調査とイベント参加状 況調査した2種類のアンケート回答を取りまとめたエクセル データ	株式会社アイシ ン	スマートモビリティ推進 協議会のサーバーに 保存	100KB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進 協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とす る。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000Mail:M- smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp株 式会社野村総合研究所TEL:03-5877- 7382Mail:mobichalle@nri.co.jp日本工営株式 会社TEL:03-3238-8277Mail:ml- mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対 応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS 創出推進事業:交通と福祉の連携によ る、社会保障費削減効果の可視化)」	サンプルデータを下記URLに て提供。 https://www.mobilitychallenge e.go.jp/login/
218	2023年3月31日	アンケートA	移動手段とQOL変化についてのアンケート	株式会社アイシ ン	スマートモビリティ推進 協議会のサーバーに 保存	500KB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進 協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とす る。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000Mail:M- smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp株 式会社野村総合研究所TEL:03-5877- 7382Mail:mobichalle@nri.co.jp日本工営株式 会社TEL:03-3238-8277Mail:ml- mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対 応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS 創出推進事業:交通と福祉の連携によ る、社会保障費削減効果の可視化)」	サンプルデータを下記URLに て提供。 https://www.mobilitychallenge e.go.jp/login/
219	2023年3月31日	アンケートB	チョイソコ利用とイベント参加についてのアンケート	株式会社アイシ ン	スマートモビリティ推進 協議会のサーバーに 保存	500KB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進 協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とす る。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000Mail:M- smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp株 式会社野村総合研究所TEL:03-5877- 7382Mail:mobichalle@nri.co.jp日本工営株式 会社TEL:03-3238-8277Mail:ml- mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対 応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS 創出推進事業:交通と福祉の連携によ る、社会保障費削減効果の可視化)」	サンプルデータを下記URLに て提供。 https://www.mobilitychallenge e.go.jp/login/
220	2023年3月31日	FIM値	被験者に対して2回実施したアンケートと健診の結果取りま とめたエクセルデータ	株式会社アイシ ン	スマートモビリティ推進 協議会のサーバーに 保存	50KB未満	一定期間後にスマートモビリティ推進 協議会会員に対して提供を開始する。 但しデータのクレジット表記を条件とす る。	国立研究開発法人産業技術総合研究所 TEL:029-861-2000Mail:M- smartmobilitychallenge-sec-ml@aist.go.jp株 式会社野村総合研究所TEL:03-5877- 7382Mail:mobichalle@nri.co.jp日本工営株式 会社TEL:03-3238-8277Mail:ml- mobichalle@dx.n-koei.co.jp	令和4年度「無人自動運転等のCASE対 応に向けた実証・支援事業(地域新MaaS 創出推進事業:交通と福祉の連携によ る、社会保障費削減効果の可視化)」	サンプルデータを下記URLに て提供。 https://www.mobilitychallenge e.go.jp/login/

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
221	2023年3月31日	ニアフィールド測定 データ	ニアフィールド測定システムを用いた、二次元輝度値集	山内泰樹	大学に保存	5GB	フレキシブルOLED/パネルの測定方法として検討する 将来的には、規格策定に向けた基礎データとして利用する予定である	山形大学山内泰樹 E-mail:yamauchi@yz.yamagata-u.ac.jp	令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))」	
222	2023年3月31日	フレキシブルOLEDの 形状と光学特性値 データ	フレキシブルOLED/パネルの形状が変化した時の全光束値や輝度分布等の光学特性値の変化に関するデータ	山内泰樹	大学に保存	1TB	フレキシブルOLED/パネルの測定方法として検討する 将来的には、規格策定に向けた基礎データとして利用する予定である	山形大学山内泰樹 E-mail:yamauchi@yz.yamagata-u.ac.jp	令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))」	
223	2023年3月31日	配光測定による全光 束値データ	配光測定装置を用いたOLED/パネルの全光束データ	山内泰樹	大学に保存	2GB	フレキシブルOLED/パネルの測定方法として検討する 将来的には、規格策定に向けた基礎データとして利用する予定である	山形大学山内泰樹 E-mail:yamauchi@yz.yamagata-u.ac.jp	令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))」	
224	2023年3月31日	実証試験データ	パワーコンディショナ(PCS)実機やミニモデル(PCSを容量のみスケールダウンした実験用装置)等を使って行う実証実験により得られた電気量などのデータ	一般社団法人日本電機工業会	自社に保存	1GB未満	一定期間後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	一般社団法人日本電機工業会 新事業・標準化推進部 TEL:03-3556-5888	令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))」	
225	2023年3月31日	測定プログラム	PVK太陽電池評価法の実証において使用した測定プログラム	地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所	自社に保存	1GB未満	必要に応じて提供	神奈川県立産業技術総合研究所 川崎技術支援部 太陽電池評価Gr. TEL:044-819-2105 Mail:t-tobe@kistec.jp	令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))」	
226	2023年3月31日	測定条件	PVK太陽電池評価法の実証における測定条件	地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所	自社に保存	1GB未満	必要に応じて提供	神奈川県立産業技術総合研究所 川崎技術支援部 太陽電池評価Gr. TEL:044-819-2105 Mail:t-tobe@kistec.jp	令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))」	
227	2023年3月31日	車載PVラウンドロビン において3次元形状座 標データ	車載PVの曲面形状を触針型3次元計測装置で測定した座標データ	国立大学法人宮 崎大学	自社に保存	1MB未満	ラウンドロビン計測結果を解釈するために有用なデータとして、 IECPT82PT600内のラウンドロビン参加試験期間で共有する。	宮崎大学工学教育研究部特別教授 荒木建次 TEL:0985-58-7366 Mail:araki.kenji@cc.miyazaki-u.ac.jp	令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))」	車載PV標準化文書審議のため、IECTC82メンバーの要求に応じてデータファイルを提供する。
228	2023年3月31日	車載PVラウンドロビン において試験計測結 果	車載PVの発電特性を各種試験装置で計測した特性データ	国立大学法人宮 崎大学	自社に保存	100MB未満	ラウンドロビン計測結果を解釈するために有用なデータとして、 IECPT82PT600内のラウンドロビン参加試験期間で共有する。	宮崎大学工学教育研究部特別教授 荒木建次 TEL:0985-58-7366 Mail:araki.kenji@cc.miyazaki-u.ac.jp	令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))」	車載PV標準化文書審議のため、IECTC82メンバーの要求に応じてデータファイルを提供する。
229	2023年3月31日	回収技術の高度化開 発における要素試験 で取得したデータ	流体式除去技術の開発における、フルスケール除去試験のデータ。 機械的除去技術の開発における、切削試験のデータ。	原子力環境整備 促進・資金管理 センター	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後:一次データ(生データ)については、一定期間後(PJ終了後3年以上)に事業の実施上有益な者に対するの提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター地 層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-2111 Mail:m-kobayashi@rwmc.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の 地層処分に関する技術開発事業(回収可 能性技術高度化開発)	
230	2023年3月31日	回収可能性の維持に 伴う影響評価技術の 整備で取得したデータ	室内試験等で得られた物理試験データ、力学試験データおよびSEM観察・SEM/EDS分析で得られた画像データ	日本原子力研究 開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後:一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対するの提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター堆積岩処分技術開 発グループ TEL:01632-5-2022 Mail:matsui.hiroya@jaea.go.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の 地層処分に関する技術開発事業(回収可 能性技術高度化開発)	
231	2023年3月31日	回収可能性の維持に 伴う影響評価技術の 整備に関する解析 データ	幌延の深度350m坑道周辺地質環境の概念モデル構築や数値解析のためのパラメータ設定のために調査した文献リスト、文献調査結果および図表データ	日本原子力研究 開発機構	受託者にて保管	1GB未満	プロジェクト終了後:一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対するの提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター堆積岩処分技術開 発グループ TEL:01632-5-2022 Mail:matsui.hiroya@jaea.go.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の 地層処分に関する技術開発事業(回収可 能性技術高度化開発)	
232	2023年3月31日	廃棄体パッケージの 閉じ込め性能に係る 試験と評価における 内部充填材の検討に 関わる試験データ	廃棄体パッケージの閉じ込め性能に係る試験と評価における内部充填材の検討に関わる充填材の水素発生量、特性値等の試験データ	原子力環境整備 促進・資金管理 センター	原子力環境整備促進・ 資金管理センターに保 存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分バリアシステム研究開発部 Tel:03-6264-1718 Mail:fujii@rwmc.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の 地層処分に関する技術開発事業(TRU廃 棄物処理・処分技術高度化開発)	
233	2023年3月31日	廃棄体パッケージの 閉じ込め性能に係る 試験と評価における 溶接部等に関する データ	廃棄体パッケージの閉じ込め性能に係る試験と評価における溶接試験および残留応力解析等に関するデータ	原子力環境整備 促進・資金管理 センター	原子力環境整備促進・ 資金管理センターに保 存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分バリアシステム研究開発部 Tel:03-6264-1718 Mail:fujii@rwmc.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の 地層処分に関する技術開発事業(TRU廃 棄物処理・処分技術高度化開発)	
234	2023年3月31日	陰イオン核種に対する 閉じ込め技術の開発 におけるヨウ素閉じ込 め技術に関わる試験 データ	陰イオン核種に対する閉じ込め技術の開発におけるヨウ素閉じ込め技術に関わる試験データ	原子力環境整備 促進・資金管理 センター	原子力環境整備促進・ 資金管理センターに保 存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分バリアシステム研究開発部 Tel:03-6264-1718 Mail:fujii@rwmc.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の 地層処分に関する技術開発事業(TRU廃 棄物処理・処分技術高度化開発)	
235	2023年3月31日	陰イオン核種に対する 閉じ込め技術の開発 における陰イオン吸着 材に関わる試験デー タ	陰イオン核種に対する閉じ込め技術の開発における陰イオン吸着材に関わる試験データ	原子力環境整備 促進・資金管理 センター	原子力環境整備促進・ 資金管理センターに保 存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対するの提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分バリアシステム研究開発部 Tel:03-6264-1718 Mail:fujii@rwmc.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の 地層処分に関する技術開発事業(TRU廃 棄物処理・処分技術高度化開発)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
236	2023年3月31日	閉鎖前安全性の評価技術の整備に関連したデータ	模擬アスファルト固化体の熱量測定データ及び硝酸塩と有機物の反応機構に関わるデータ	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 基盤技術研究開発部システム性能研究グループ Tel:029-282-1133内線67400 Mail:mihara.morihiro@jaea.go.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
237	2023年3月31日	廃棄体からの核種溶出モデルの高度化に関わる試験データ	廃棄体からの核種溶出モデルの高度化に関わるハル等廃棄体の核種分布や核種溶出率のデータ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分バリエーションシステム研究開発部 Tel:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
238	2023年3月31日	ニアフィールド構成要素の現象解析モデルの構築・高度化に関連したデータ	HFSC及びHFSC/緩衝材の変質試験で得られたデータ及び生成する二次鉱物に関わるデータ	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 基盤技術研究開発部システム性能研究グループ Tel:029-282-1133内線67400 Mail:mihara.morihiro@jaea.go.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
239	2023年3月31日	ニアフィールド構成要素の現象解析モデルの構築・高度化におけるナチュラアナログデータ	ニアフィールド構成要素の現象解析モデルの構築・高度化において、フィリピンのナチュラアナログ試料の鉱物分析、化学分析データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分バリエーションシステム研究開発部 Tel:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
240	2023年3月31日	廃棄体由来の発生ガスに関する現象解析モデルの妥当性検討に関連したデータ	廃棄体由来の発生ガスに関する現象解析モデルの妥当性検討における事例調査および既往の試験結果をもとにした予察解析データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	原子力環境整備促進・資金管理センターに保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分バリエーションシステム研究開発部 Tel:03-6264-1718 Mail:fujii@rwm.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
241	2023年3月31日	有機物の影響評価モデルの高度化に関連したデータ	ISA等の有機配位子が遷移元素の溶解度や収着に及ぼす影響に関わるデータ及び溶解度試験で得られたデータ	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 基盤技術研究開発部システム性能研究グループ Tel:029-282-1133内線67400 Mail:mihara.morihiro@jaea.go.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
242	2023年3月31日	硝酸塩の現象解析モデルの妥当性検討に関連したデータ	硝酸イオンの変遷に関する調査で得られたデータ	日本原子力研究開発機構	日本原子力研究開発機構に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	日本原子力研究開発機構 基盤技術研究開発部システム性能研究グループ Tel:029-282-1133内線67400 Mail:mihara.morihiro@jaea.go.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発)	
243	2023年3月31日	シーリングシステム長期性能評価に関する解析データ	多様な地質環境条件を想定したシーリングシステムの長期性能を評価するための数値解析によって得られたデータ	日本原子力研究開発機構所	受託者にて保管	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中：一次データ含め同一プロジェクト参加者には無償で提供し、成果の外部発信に利用する。 プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター堆積岩処分技術開発グループ TEL:01632-5-2022 Mail:matsui.hiroya@jaea.go.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確認試験)	
244	2023年3月31日	シーリング技術の性能確認で取得したデータ	埋め戻し材や止水プラグ等のシーリング技術の性能確認を行うために実施する室内・原位試験(EDZ連続性調査、EDZシーリング試験等)や数値解析(膨潤変形挙動、トモグラフィ等)により取得するデータ	日本原子力研究開発機構所	受託者にて保管	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中：一次データ含め同一プロジェクト参加者には無償で提供し、成果の外部発信に利用する。 プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター堆積岩処分技術開発グループ TEL:01632-5-2022 Mail:matsui.hiroya@jaea.go.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確認試験)	
245	2023年3月31日	坑道シーリングに関わる施工技術の整備で取得したデータ	埋め戻し材等に関して、個別材料要素の組合せをパラメータとして要素試験等により取得したデータ及び施工試験等により取得した施工特性や施工品質データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	受託者にて保管	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中：一次データ含め同一プロジェクト参加者には無償で提供し、成果の外部発信に利用する。 プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-16	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確認試験)	
246	2023年3月31日	地下構成要素を対象とした計測関連技術の整備で取得したデータ	埋め戻し材の品質保証と性能確認を目的とした要素試験等により取得したデータ及び無線技術の適用性の確認を目的とした要素試験等により取得したデータ	原子力環境整備促進・資金管理センター	受託者にて保管	1GB以上10GB未満	プロジェクト期間中：一次データ含め同一プロジェクト参加者には無償で提供し、成果の外部発信に利用する。 プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分工学技術研究開発部 Tel:03-6264-1615 Mail:kawakubo.masahiro@rwm.or.jp	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(地層処分施設閉鎖技術確認試験)	
247	2023年3月31日	化石海水分布を確認するためのボーリング調査により取得した各種データ	ボーリング調査におけるボーリング掘削、コア観察、検層、採水などにより得られた各種データ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB以上10GB未満	プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター 堆積岩安全評価研究グループ TEL:01632-5-2022(代表)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(岩盤中地下水流動評価技術高度化開発)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
248	2023年3月31日	移流場と拡散場に応じた地下水流動の調査・評価技術の整理に関するデータ	物理探査やボーリング調査といった一連の地上からの調査における最適な手法を示すために、移流場と拡散場に応じた地下水流動の調査・評価技術を整理することで得られたデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	10GB以上 100GB未満	プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター 堆積岩安全評価研究グループ TEL:01632-5-2022(代表)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(岩盤中地下水流動評価技術高度化開発)	
249	2023年3月31日	低流動域の三次元分布の推定結果を確認するための地下水流動・物質移動解析に関わるデータ	幌延地域を対象とした長期的な変遷を考慮した地下水流動・物質移行解析などで得られるデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	10GB以上 100GB未満	プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	幌延深地層研究センター 堆積岩安全評価研究グループ TEL:01632-5-2022(代表)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(岩盤中地下水流動評価技術高度化開発)	
250	2023年3月31日	施設スケールの水理パラメータ設定のための数値シミュレーションデータ	施設スケールの亀裂性岩盤の水理学的な不均質性を表現可能な水理パラメータを設定するための数値シミュレーションによって得られたデータ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB以上 10GB未満	プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	東濃地科学センター 計画管理グループ TEL:0572-53-0211(代表)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(岩盤中地下水流動評価技術高度化開発)	
251	2023年3月31日	ボーリング調査により取得した各種データ	平成31年度(令和元年度)および令和2年度に実施したボーリング調査において得られた各種データ	日本原子力研究開発機構	受託者にて保管	1GB以上 10GB未満	プロジェクト終了後：一次データ(生データ)については、事業の実施上有益な者に対しての提供を開始する。但しデータのクレジット表記を条件とする。	東濃地科学センター 計画管理グループ TEL:0572-53-0211(代表)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(岩盤中地下水流動評価技術高度化開発)	
252	2023年3月31日	(1)①オーバーバックの腐食挙動に関する試験データ	過渡状態を想定した環境条件における腐食試験により得られる腐食データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 館幸男 Tel:029-282-1133(内線:67701)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
253	2023年3月31日	(1)①緩衝材の特性に関するデータ	ベントナイトの基本特性や地下水の浸潤過程での力学的挙動を把握するための膨潤、透水等の室内試験等に関するデータ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 館幸男 Tel:029-282-1133(内線:67701)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
254	2023年3月31日	(1)③現象解析モデルの統合化技術の構築におけるニアフィールド複合現象等の解析データ	現象解析モデルの統合化技術の構築におけるニアフィールド複合現象等の解析システムの感度解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 館幸男 Tel:029-282-1133(内線:67701)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
255	2023年3月31日	(1)②有機物・微生物の影響評価モデルの高度化における試験・解析データ	天然有機物や微生物の特性や核種との相互作用に関する試験・分析データ、及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 館幸男 Tel:029-282-1133(内線:67701)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
256	2023年3月31日	(2)①ニアフィールドにおける状態変遷を考慮した核種移行解析モデルの構築における試験・解析データ	ニアフィールドにおける鉄製オーバーバックと緩衝材との相互作用、セメント系材料と緩衝材及び岩石との相互作用が核種移行に及ぼす影響に関する試験・分析データ、及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 館幸男 Tel:029-282-1133(内線:67701)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
257	2023年3月31日	(2)②水みちの微細透水構造などを反映した核種移行解析モデルの構築・高度化における試験・解析データ	ニアフィールド岩盤中の核種移行評価に関する試験・分析データ、及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 館幸男 Tel:029-282-1133(内線:67701)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
258	2023年3月31日	(3)①想定される様々な処分場環境を対象とした核種移行パラメータ設定に資するデータの拡充における試験・解析データ	比較的炭酸濃度が高い地下水が存在する場等における岩石への着着・拡散評価に関する試験・分析データ、及びそれらのデータに基づく評価モデルによる解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 館幸男 Tel:029-282-1133(内線:67701)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
259	2023年3月31日	(1)①緩衝材流出現象の把握及び工学的対策効果確認試験により取得したデータ	緩衝材の流出現象の把握及び工学的対策効果の確認に関する、水圧、土圧(膨潤圧)、密度等のデータ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	地層処分工学技術研究開発部 江守稔 Tel:03-6264-2111(代)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	
260	2023年3月31日	(1)①緩衝材の浸潤プロセスに係る試験により取得したデータ	緩衝材の再冠水期間の擾乱期の状態変遷の評価に関するモデル試験によるデータ、及び解析データ	原子力環境整備促進・資金管理センター	自社に保存	1GB未満	プロジェクト期間中：同一プロジェクト参加者には無償で提供。プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	地層処分工学技術研究開発部 江守稔 Tel:03-6264-2111(代)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(ニアフィールドシステム評価確証技術開発)	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
261	2023年3月31日	(1)①処分容器の腐食挙動に関する試験データ	純銅や純銅以外の候補材料に対する腐食試験により得られる腐食データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 システム性能研究グループ 平野史生 Tel:029-282-1133(内線:67403)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
262	2023年3月31日	(1)②使用済燃料の処分後の境界安全に関する解析データ	燃料や処分容器等の材料の状態や配置が臨界安全性に及ぼす影響を把握するための解析データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 システム性能研究グループ 平野史生 Tel:029-282-1133(内線:67403)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
263	2023年3月31日	(2)①使用済燃料からの核種放出挙動に関する試験データ	ウラン酸化物の溶解挙動に関する試験データ、及び、使用済燃料からの核種放出挙動に関する実燃料を用いた試験データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 システム性能研究グループ 平野史生 Tel:029-282-1133(内線:67403)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
264	2023年3月31日	(2)②緩衝材の変質挙動に関する試験データ	銅と緩衝材との相互作用を把握するための様々な条件における緩衝材の変質に関する試験データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部 システム性能研究グループ 平野史生 Tel:029-282-1133(内線:67403)	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
265	2023年3月31日	(3)その他代替処分オプションに関する計算データ	わが国で超深孔処分を実施する場合の掘削の実現可能性を把握するための計算データ	日本原子力研究開発機構	自社に保存	1GB未満	プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研+I280+I270+I280+I270+I280+I270	令和4年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業(直接処分等代替処分技術高度化開発)	
266	2023年4月12日	X線CT技術／デジタル化拠点の中長期事業化等に関する調査報告書	XCT/CPE拠点中長期事業化検討分科会で議論された公開情報に基づく資料・公開版報告書	経済産業省	自社に保存	10MB未満	経済産業省ホームページで公開する成果報告書に掲載	サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術 研究組合事務局 03-6265-4634	令和4年度超大型X線CT装置を活用した産業のデジタル化技術の開発等に係る調査事業	
267	2023年4月12日	X線CT技術／デジタル化拠点の建屋及びレイアウト原案	超大型X線CT装置を運用するための建屋及びレイアウトの原案	経済産業省	自社に保存	10MB未満	経済産業省ホームページで公開する成果報告書に掲載	サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術 研究組合事務局 03-6265-4634	令和4年度超大型X線CT装置を活用した産業のデジタル化技術の開発等に係る調査事業	
268	2023年4月12日	超大型X線CT装置の設計に関する調査報告書	超大型XCT装置検討分科会で議論された議論された公開情報に基づく資料・公開版報告書	経済産業省	自社に保存	10MB未満	経済産業省ホームページで公開する成果報告書に掲載	サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術 研究組合事務局 03-6265-4634	令和4年度超大型X線CT装置を活用した産業のデジタル化技術の開発等に係る調査事業	
269	2023年4月12日	超大型X線CT画像処理基盤技術についての研究動向調査資料等	X線CT画像処理基盤技術検討分科会で議論された公開情報に基づく資料・公開版報告書	経済産業省	自社に保存	10MB未満	経済産業省ホームページで公開する成果報告書に掲載	サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術 研究組合事務局 03-6265-4634	令和4年度超大型X線CT装置を活用した産業のデジタル化技術の開発等に係る調査事業	
270	2023年4月12日	データプラットフォームに関する調査報告書	データプラットフォームに関する公開情報に基づく文献・公開できるヒアリング調査資料・公開版報告書	経済産業省	自社に保存	10MB未満	経済産業省ホームページで公開する成果報告書に掲載	サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術 研究組合事務局 03-6265-4634	令和4年度超大型X線CT装置を活用した産業のデジタル化技術の開発等に係る調査事業	
271	2023年4月12日	X線CTデータを元にしたデジタル化技術とデータ活用に関する調査報告書	X線CTデータを元にしたデジタル化技術とデータ活用に関する公開可能な調査資料・公開版報告書	経済産業省	自社に保存	10MB未満	経済産業省ホームページで公開する成果報告書に掲載	サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術 研究組合事務局 03-6265-4634	令和4年度超大型X線CT装置を活用した産業のデジタル化技術の開発等に係る調査事業	
272	2023年4月12日	XCC(XrayCarCrash)に関する海外技術調査	X線高速撮像技術に関する公開可能な調査資料・公開版報告書	経済産業省	自社に保存	10MB未満	経済産業省ホームページで公開する成果報告書に掲載	サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術 研究組合事務局 03-6265-4634	令和4年度超大型X線CT装置を活用した産業のデジタル化技術の開発等に係る調査事業	
273	2023年4月3日	スラッジ類ウラン廃棄物浸出試験データ	スラッジ類ウラン廃棄物の硝酸、炭酸塩による浸出試験結果	一般社団法人新金属協会	一般社団法人新金属協会、(株)化研、但し、(株)化研は7年間保管。	1GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者及び加工事業者には無償で提供。プロジェクト終了後:広く公開する。但し、データの二次的利用に関してはクレジット表記を条件とする。	一般社団法人新金属協会 TEL03-5405-8050 Mail:fukada@jsnm.or.jp	令和5年度放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(ウラン分離技術の開発)	
274	2023年4月3日	スラッジ類ウラン廃棄物処理工業化検討結果	スラッジ類ウラン廃棄物の浸出試験結果に基づくウラン分離処理施設の工業化検討結果	一般社団法人新金属協会	一般社団法人新金属協会、(株)化研、但し、(株)化研は7年間保管。	1GB未満	プロジェクト期間中:プロジェクト参加者及び加工事業者には無償で提供。プロジェクト終了後:広く公開する。但し、データの二次的利用に関してはクレジット表記を条件とする。	一般社団法人新金属協会 TEL03-5405-8050 Mail:fukada@jsnm.or.jp	令和5年度放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(ウラン分離技術の開発)	
275	2023年3月3日	反応動力学データ	量子化学/遷移状態理論計算により得られる酸化エチレンの大気消失速度の計算結果	産業技術総合研究所、東京大学	産総研、東京大学のPC上への保存。論文投稿後は元データを学術誌の出版社のリポジトリにも保存。	1GB未満	論文投稿時に元データを併せて無償で提供する。	産業技術総合研究所安全科学研究部門 TEL029-861-8413 Mail:hata-hiroo@asit.go.jp	令和4年度化学物質安全対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業(酸化エチレンの大気消失過程の速度論的解析と領域大気質モデルによる大気リスク評価)」	東京大学の学生に手伝って頂いたため、産総研と東大双方のPCで保存。

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
276	2023年3月3日	光化学スモッグチャンパー実験データ	スモッグチャンパー実験ंनीより得られる酸化エチレンの大気消失速度の実験結果を含む元データと解析データ	産業技術総合研究所、東京大学	産総研、東京大学のPC上への保存。論文投稿後は元データを学術誌の出版社のリポジトリにも保存。	1GB～10GB程度	論文投稿時に元データを併せて無償で提供する。	産業技術総合研究所安全科学研究部門 TEL:029-861-8413 Mail:hata-hiroo@aist.go.jp	令和4年度化学物質安全対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業(酸化エチレンの大気消失過程の速度論的解析と領域大気質モデルによる大気リスク評価)」	
277	2023年3月3日	酸化エチレンの国内排出インベントリデータ	PRTRデータのGIS処理により得られる酸化エチレンの国内排出インベントリの算出結果	産業技術総合研究所、現代企画社	産総研、現代企画社のPC上への保存。論文投稿後は元データを学術誌の出版社のリポジトリにも保存。	1TB～2TB程度	論文投稿時に元データを併せて無償で提供する。	産業技術総合研究所安全科学研究部門 tel:029-861-8413 Email:hata-hiroo@aist.go.jp	令和4年度化学物質安全対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業(酸化エチレンの大気消失過程の速度論的解析と領域大気質モデルによる大気リスク評価)」	
278	2023年3月3日	領域大気質モデルによる酸化エチレンの大気反応拡散系の計算出力データ	量子化学計算により得られた化学反応速度定数や排出インベントリの算出結果を用いた領域大気質モデルによる酸化エチレンの大気濃度計算の結果	産業技術総合研究所	産総研のPC上への保存。論文投稿後は元データを学術誌の出版社のリポジトリにも保存。	2TB～5TB程度	論文投稿時に元データを併せて無償で提供する。	産業技術総合研究所安全科学研究部門 tel:029-861-8413 Email:hata-hiroo@aist.go.jp	令和4年度化学物質安全対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業(酸化エチレンの大気消失過程の速度論的解析と領域大気質モデルによる大気リスク評価)」	
279	2023年3月3日	人工皮膚を用いた自動車シート中リン系難燃剤の皮膚透過試験における実験データ	皮膚透過試験において得られたサンプル中のリン系難燃剤濃度に関するデータ	静岡県立大学	本学に保存	10GB未満	一定期間後に事業の実施上有益なものに對しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。クレジット表記を条件とする。なお、サンプルデータを公開している。	静岡県立大学 食品栄養科学部環境生命化学科 物性化学研究室 tel:054-264-5783 Email:tokumura@u-shizuoka-ken.ac.jp	令和4年度化学物質安全対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業(消費者製品に含まれる化学物質の経皮曝露を含めた包括的リスク評価スキームの構築)」	サンプルデータを下記学会要旨などにて提供。日本環境化学会室内環境学会環境科学会
280	2024年3月29日	測定プログラム	PVK太陽電池評価法の実証において使用した測定プログラム	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	自社に保存	1GB未満	必要に応じて提供	神奈川県立産業技術総合研究所 川崎技術支援部 太陽電池評価Gr. TEL:044-819-2105 Mail:t-tobe@kistec.jp	令和5年度エネルギー需給高度化基準 認証推進事業費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))	
281	2024年3月29日	測定条件	PVK太陽電池評価法の実証における測定条件	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	自社に保存	1GB未満	必要に応じて提供	神奈川県立産業技術総合研究所 川崎技術支援部 太陽電池評価Gr. TEL:044-819-2105 Mail:t-tobe@kistec.jp	令和5年度エネルギー需給高度化基準 認証推進事業費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))	
282	2024年3月29日	車載PVラウンドロビンにおいて3次元形状座標データ	車載PVの曲面形状を触針型3次元計測装置で測定した座標データおよび座標系、計測ポイント位置	宮崎大学	自社に保存	1GB未満	ラウンドロビン計測結果を解釈するために有用なデータとして、IECPT82PT600内のラウンドロビン参加試験機関で共有する。	宮崎大学工学教育研究部 荒木建次特別教授 TEL:0985-58-7366 Mail:arakikenji4@cc.miyazaki-u.ac.jp	令和5年度エネルギー需給高度化基準 認証推進事業費(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))	車載PV標準化文書審議のため、IECTC82メンバーの要求に応じてデータファイルを提供する。

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
283	2024年3月29日	車載PVラウンドロビン において試験計測結 果	車載PVの発電特性を各種試験装置で計測した特性データ	宮崎大学	自社に保存	1GB未満	ラウンドロビン計測結果を解釈するた めに有用なデータとして、 IECPT82PT600内のラウンドロビン参加 試験機関で共有する。	宮崎大学工学教育研究部 荒木建次特別教授 TEL:0985-58-7366 Mail: araki.kenji4@cc.miyazaki-u.ac.jp	令和5年度エネルギー需給高度化基準 認証推進事業費(省エネルギー等国際標 準開発(国際電気標準分野))	車載PV標準化文書審議のため、IECTC82メンバーの要求 に応じてデータファイルを提 供する。
284	2024年3月29日	公開する技術検証結 果	ウィークマイクロビア(WMV)の信頼性試験結果及びその故障 解析結果のうち、規格原稿に掲載するなどして、公開する予 定の情報	吉田浩芳	原本学内保存	1GB未満	IEC規格原稿が各国に配信された時点 で、 オープンになり、各国で再現性の試験 がな される見込み	大阪大学産業科学研究所 フレキシブル3D(F3D)実装協働研究所 URL:https://www.f3d.sanken.osaka-u.ac.jp/ TEL:06-6879-4294/06-6879-4295 MAIL:f3d@sanken.osaka-u.ac.jp	令和5年度エネルギー需給高度化基準 認証推進事業費(省エネルギー等国際標 準開発(国際電気標準分野))	
285	2024年3月29日	公開できない技術検 証結果	ウィークマイクロビア(WMV)の信頼性試験結果及びその故障 解析結果のうち、規格原稿に掲載しない、日本が競争力を維持・向上するための情報	吉田浩芳	学内保存	1GB未満	日本における先端半導体パッケージ ング開発の差別化のために利活用する	大阪大学産業科学研究所 フレキシブル3D(F3D)実装協働研究所 URL:https://www.f3d.sanken.osaka-u.ac.jp/ TEL:06-6879-4294/06-6879-4295 MAIL:f3d@sanken.osaka-u.ac.jp	令和5年度エネルギー需給高度化基準 認証推進事業費(省エネルギー等国際標 準開発(国際電気標準分野))	
286	2024年3月29日	実証試験データ	分散型電源マネジメントシステム(DERMS)やパワーコンディ ショナ(PCS)等を使って行う実証試験により得られた電力量 などのデータ	一般社団法人日 本電機工業会	自社に保存	1GB未満	一定期間後に事業の実施上有益なも のに対するの提供を開始。但しデータ のクレジット表記を条件とする。	一般社団法人日本電機工業会 新事業・標準化推進部 TEL:03-3556-5888	令和5年度エネルギー需給高度化基準 認証推進事業費(省エネルギー等国際標 準開発(国際電気標準分野))	
287	2024年3月4日	反応動力学データ	量子化学/遷移状態理論計算により得られる酸化エチレンの大 気消失速度の計算結果	産業技術総合研 究所、東京大学	産総研、東京大学の PC上への保存。論文 投稿後は元データを学 術誌の出版社のレポ ジトリにも保存。	1GB未満	論文投稿時に元データを併せて無償で 提供する。	産業技術総合研究所安全科学研究部門 Tel:029-861-8413 Email:hata-hiroo@aist.go.jp	令和5年度化学物質規制対策「大学・公 的研究機関と連携した化学物質管理高 度化推進事業(酸化エチレンの大気消失 過程の速度論的解析と領域大気質モデ ルによる大気リスク評価)」	東京大学の学生に手伝って 頂いたため、産総研と東大双 方のPCで保存。
288	2024年3月4日	光化学スモッグチャン バー実験データ	スモッグチャンバー実験により得られる酸化エチレンの大 気消失速度の実験結果を含む元データと解析データ	産業技術総合研 究所、東京大学	産総研、東京大学の PC上への保存。論文 投稿後は元データを学 術誌の出版社のレポ ジトリにも保存。	1GB～10GB程 度	論文投稿時に元データを併せて無償で 提供する。	産業技術総合研究所安全科学研究部門 Tel:029-861-8413 Email:hata-hiroo@aist.go.jp	令和5年度化学物質規制対策「大学・公 的研究機関と連携した化学物質管理高 度化推進事業(酸化エチレンの大気消失 過程の速度論的解析と領域大気質モデ ルによる大気リスク評価)」	
289	2024年3月4日	酸化エチレンの国内 排出インベントリデー タ	PRTRデータのGIS処理により得られる酸化エチレンの国内 排出インベントリの算出結果	産業技術総合研 究所、現代企画 社	産総研、現代企画社 のPC上への保存。論文 投稿後は元データを学 術誌の出版社のレ ポジトリにも保存。	1TB～2TB程 度	論文投稿時に元データを併せて無償で 提供する。	産業技術総合研究所安全科学研究部門 Tel:029-861-8413 Email:hata-hiroo@aist.go.jp	令和5年度化学物質規制対策「大学・公 的研究機関と連携した化学物質管理高 度化推進事業(酸化エチレンの大気消失 過程の速度論的解析と領域大気質モデ ルによる大気リスク評価)」	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
290	2024年3月4日	領域大気質モデルによる酸化エチレンの大気反応拡散系の計算出力データ	量子化学計算により得られた化学反応速度定数や排出インベントリの算出結果を用いた領域大気質モデルによる酸化エチレンの大気濃度計算の結果	産業技術総合研究所	産総研のPC上への保存。論文投稿後は元データを学術誌の出版社のリポジトリにも保存。	2TB～5TB程度	論文投稿時に元データを併せて無償で提供する。	産業技術総合研究所安全科学研究部門 Tel:029-861-8413 Email:hata-hiroo@aist.go.jp	令和5年度化学物質規制対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業(酸化エチレンの大気消失過程の速度論的解析と領域大気質モデルによる大気リスク評価)」	
291	2024年3月29日	未照射MOX燃料の物性評価データ	作製した未照射MOXペレットの物性を評価するため、ペレットの寸法・密度、各種分析値、Puスポットの分布や濃度等に係るデータ	竹内正行	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	茨城県那珂郡東海村村松4-33 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 TEL:029-282-1111(代表)	令和3年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(使用済MOX燃料処理技術の基盤整備)」	
292	2024年3月29日	未照射MOX燃料の硝酸溶解データ	未照射MOXペレットを用いた硝酸溶解性に関する試験のデータ(試験方法、試験条件、分析、測定データ、試験状況の写真)及びこれに関連する検討結果	竹内正行	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	茨城県那珂郡東海村村松4-33 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 TEL:029-282-1111(代表)	令和3年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(使用済MOX燃料処理技術の基盤整備)」	
293	2024年3月29日	不溶解残渣の溶解構造データ	不溶解残渣の模擬物質を対象として、機器分析により得られる金属イオンの水和構造等に係るデータ	竹内正行	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	茨城県那珂郡東海村村松4-33 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 TEL:029-282-1111(代表)	令和3年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(使用済MOX燃料処理技術の基盤整備)」	
294	2024年3月29日	未照射MOX燃料の物性評価データ	作製した未照射MOXペレットの物性を評価するため、ペレットの寸法・密度、各種分析値、Puスポットの分布や濃度等に係るデータ	竹内正行	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	茨城県那珂郡東海村村松4-33 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 TEL:029-282-1111(代表)	令和4年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(使用済MOX燃料処理技術の基盤整備)」	
295	2024年3月29日	未照射MOX燃料の硝酸溶解データ	未照射MOXペレットを用いた硝酸溶解性に関する試験のデータ(試験方法、試験条件、分析、測定データ、試験状況の写真)及びこれに関連する検討結果	竹内正行	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	茨城県那珂郡東海村村松4-33 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 TEL:029-282-1111(代表)	令和4年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(使用済MOX燃料処理技術の基盤整備)」	
296	2024年3月29日	不溶解残渣の溶解構造データ	不溶解残渣の模擬物質を対象として、機器分析により得られる金属イオンの水和構造等に係るデータ	竹内正行	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	茨城県那珂郡東海村村松4-33 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 TEL:029-282-1111(代表)	令和4年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(使用済MOX燃料処理技術の基盤整備)」	
297	2024年3月29日	ガラスマトリックス・原料供給形態の高度化	放射性廃棄物ガラスを作製するにあたりイエローフェーズが発生する原理・メカニズムを解明するための研究データ	宇佐見剛	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	神奈川県横須賀市長坂2-6-1 一般財団法人電力中央研究所エネルギー・トランスフォーメーション研究本部 TEL:046-856-2121	令和5年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(ガラス固化技術の基盤整備)」	
298	2024年3月29日	ガラス溶融炉・運転制御技術の高度化	ガラス溶融炉内で発生する白金族元素の挙動・メカニズムに関する研究データ	宇佐見剛	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	神奈川県横須賀市長坂2-6-1 一般財団法人電力中央研究所エネルギー・トランスフォーメーション研究本部 TEL:046-856-2121	令和5年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(ガラス固化技術の基盤整備)」	
299	2024年3月29日	ガラス溶融炉・運転制御技術の高度化	アルカリ廃液と高レベル濃縮廃液で別々に処理するための運転技術の検討に関する研究データ	宇佐見剛	期間中:自社に保存 終了後:自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中:同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	神奈川県横須賀市長坂2-6-1 一般財団法人電力中央研究所エネルギー・トランスフォーメーション研究本部 TEL:046-856-2121	令和5年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(ガラス固化技術の基盤整備)」	

データ No.	提出日	データ名称	データの説明	管理者	プロジェクト終了後の リポジトリ	概略データ量	研究データの利活用・提供方針	連絡先	契約件名(プロジェクト名)	備考
300	2024年3月29日	ガラス溶融炉・運転制御技術の高度化	複数の原料ガラスの組み合わせによるガラス固化プロセス安定化の検討に関する研究データ	宇佐見剛	期間中: 自社に保存 終了後: 自社に保存	10-100GB	プロジェクト期間中: 同一プロジェクト参加者には無償で提供。 プロジェクト終了後に事業の実施上有益なものに対しての提供を開始。但しデータのクレジット表記を条件とする。	神奈川県横須賀市長坂2-6-1 一般財団法人電力中央研究所エネルギー トランスフォーメーション研究本部 TEL: 046-856-2121	令和5年度「放射性廃棄物の減容化に向けたガラス固化技術の基盤研究事業(ガラス固化技術の基盤整備)」	

[illegible]